

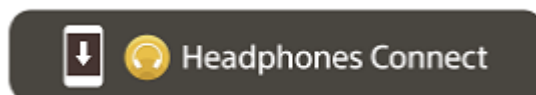
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5



型式：YY2954

クイックスタートガイド

アプリをダウンロードして、ヘッドセットのセットアップをしましょう



すべての機能・性能改善をご利用いただくために、ヘッドセットのソフトウェアや“Sony | Headphones Connect”アプリは最新のバージョンをお使いください。詳しくは、下記をご覧ください。

<https://www.sony.net/elesupport/>

なお、“Sony | Headphones Connect”アプリは2024年10月より、アプリ名と画面を一新し、“Sony | Sound Connect”アプリとして提供を開始しました。


使い始めよう



1

電源を入れる



ランプ（青）が点滅するまで、（電源）ボタンを約2秒間押したままにして、電源を入れてください。お買い上げ後に初めて電源を入れたときは、自動的に機器登録（ペアリング）モードになります。

2

BLUETOOTH®接続する



ダウンロードした“Sony | Headphones Connect”アプリの指示に従ってください。

3

ヘッドセットで操作する



タッチセンサーコントロールパネルを使って、以下の操作ができます。

すばやく2回タップする：再生/一時停止

前にすべらせて離す：次の曲の頭出し

後ろにすべらせて離す：前（または再生中）の曲の頭出し

上にすべらせて離す：音量を上げる

下にすべらせて離す：音量を下げる

詳しい操作は「音楽再生時にできること（Bluetooth接続）」をご覧ください。

 **水濡れによる焼損や故障を防ぐために**

ヘッドセットは防水仕様ではありません。

雨や汗などで濡れたまま充電すると焼損や故障の原因になります。

ご注意

- ヘッドセットのスライダーを調節せずに装着した場合、適切な装着位置にならず痛みを感じたり、ノイズキャンセリング効果が弱いとすることがあります。またヘッドセットの装着検出機能が正しく動作せず、自動的に音楽が再生停止したり、自動電源オフ機能（省電力機能）が働き自動的にヘッドセットの電源が切れる場合があります。

関連情報

[ヘッドセットを装着する](#)

[手動でBluetooth接続する](#)

[ヘッドセットを充電する](#)

準備する

[Bluetooth機能でできること](#)

[音声ガイダンスについて](#)

付属品について

[箱の中身を確認する](#)

[キャリングケースに収納する](#)

各部の名称

[各部の名称](#)

[ランプ表示](#)

[ヘッドセットを装着する](#)

電源／充電

- [ヘッドセットを充電する](#)
- [使用可能時間](#)
- [充電式電池の残量を確認する](#)
- [ヘッドセットの電源を入れる](#)
- [ヘッドセットの電源を切る](#)

接続する

[Bluetooth接続をするには](#)

アプリを使ってかんたんに接続する

- [“Sony | Headphones Connect”アプリを使って接続する](#)

Android搭載スマートフォン

- [Android搭載スマートフォンを機器登録（ペアリング）してから接続する](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する](#)

iPhone（iOS搭載機器）

- [iPhoneを機器登録（ペアリング）してから接続する](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのiPhoneと接続する](#)

ウォークマン®

- [ウォークマン®を機器登録（ペアリング）してから接続する](#)
- [ウォークマン®を機器登録（ペアリング）してから接続する（Android搭載モデル）](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのウォークマン®と接続する](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのウォークマン®と接続する（Android搭載モデル）](#)

パソコン

- [パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows® 10）](#)
- [パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows 8.1）](#)
- [パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Mac）](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 10）](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 8.1）](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Mac）](#)

その他のBluetooth機器

- Bluetooth機器を機器登録（ペアリング）してから接続する
- 機器登録（ペアリング）済みのBluetooth機器と接続する

マルチポイント接続

- 2台の機器と同時に接続する（マルチポイント接続）

付属のヘッドホンケーブルをつないで使う

音楽を聞く

Bluetoothを使って音楽を聞く

- Bluetooth接続した機器の音楽を聞く
- 音楽再生時にできること（Bluetooth接続）
- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）
- 360 Reality Audioについて
- Quick Access（クイックアクセス）を使う
- スピーカーと組み合わせてシームレス再生を楽しむ（Auto Switch）

ノイズキャンセリング機能

- ノイズキャンセリング機能とは
- ノイズキャンセリング機能を使う
- 装着状態や環境に合わせてノイズキャンセリング性能を常に自動で最適化する（オートNC最適マイザー）

周囲の音を聞く

- 音楽再生中に周囲の音を聞く（外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード））
- すばやく周囲の音を聞きたいときは（クイックアテンションモード）
- ヘッドセットを耳に装着したまま会話をする（スピーク・トゥ・チャット）

音質モード

- 音質モードについて

対応コーデックについて

DSEE Extremeについて

通話する

電話を受ける

電話をかける

[通話時にできること](#)

[パソコンでビデオ通話する](#)

[Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)

音声アシスト機能を使う

[Google アシスタントを使う](#)

[Amazon Alexaを使う](#)

[音声アシスト機能（Googleアプリ）を使う](#)

[音声アシスト機能（Siri）を使う](#)

アプリを使う

[“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)

[“Sony | Headphones Connect”アプリをインストールする](#)

[“Sony | Headphones Connect”アプリからサポート情報を見る](#)

[ソフトウェアを最新の状態に保つ方法（快適にご使用いただくために）](#)

サービスとの連携でできること

[サービスとの連携でできること](#)

お知らせ

[使用上のご注意](#)

[水濡れによる焼損や故障を防ぐために](#)

[ライセンスについて](#)

[商標について](#)

[保証書とアフターサービス](#)

[電話・ファックスで問い合わせる](#)

[サポートホームページで調べる](#)

困ったときは

[故障かな？と思ったら](#)

電源／充電

— [電源が入らない](#)

— [勝手に電源が切れてしまう](#)

[充電できない](#)

[充電時間が長い](#)

[使用時間が短い（電池の持続時間が短い）](#)

音（音声）

[音が出ない](#)

[音が小さい](#)

[音質が悪い、ノイズや異音が聞こえる](#)

[音が途切れやすい](#)

[ノイズキャンセリング効果が得られない](#)

Bluetooth接続

[機器登録（ペアリング）できない](#)

[Bluetooth接続ができない](#)

[ヘッドセットを操作できない](#)

[通話相手の声が聞こえない・声が小さい、通話相手に声が届かない・声が小さい](#)

[ヘッドセットが誤動作する](#)

ヘッドセットをリセット・初期化する

[リセットする](#)

[初期化する](#)

主な仕様

[主な仕様](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

Bluetooth機能でできること

ヘッドセットではBluetooth技術を使って以下のようなことができます。

音楽を聞く

スマートフォンや音楽プレーヤーなどからワイヤレスで音楽を楽しめます。



通話する

スマートフォンや携帯電話をカバンやポケットの中に入れたまま、ハンズフリーで通話ができます。



ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

音声ガイダンスについて

お買い上げ時の状態では、以下の状況でヘッドセットから日本語の音声ガイダンスが流れます。

“Sony | Headphones Connect”アプリを使用すると、音声ガイダンスの言語の変更やオン/オフの切り替えができます。詳しくは、“Sony | Headphones Connect”アプリのヘルプガイドをご覧ください。

https://rd1.sony.net/help/mdr/hpc/h_zz/

- 機器登録（ペアリング）モードにしたとき：「ペアリングモード」
- 充電式電池の残量を確認したとき：「バッテリー約XX%」（「XX」の数値は大まかな残量を示します。おおよその目安として利用してください。）
- 充電式電池の残量が少なくなったとき：「バッテリーが少なくなりました」
- 充電式電池の残量が少なくなって自動的に電源が切れるとき：「バッテリーがなくなりました」
- スピーク・トゥ・チャットが有効になったとき：「スピークトゥチャット有効」
- スピーク・トゥ・チャットが無効になったとき：「スピークトゥチャット無効」
- タッチセンサーコントロールパネルを操作しても、ヘッドセットに接続したスマートフォンでGoogle™ アシスタントが使用できないとき：「Google アシスタントが接続されていません」
- タッチセンサーコントロールパネルを操作しても、ヘッドセットに接続したスマートフォンでAmazon Alexaが使用できないとき：「モバイルデバイスが接続されていないか、Alexaアプリを起動して再度お試しください」
- サービスとの連携がオフでQuick Accessが利用できないとき：「Headphones Connectを起動し、サービスとの連携をオンにしてください」
- ソフトウェアアップデート中でQuick Accessが利用できないとき：「アップデート中は使用できません。アップデート完了までお待ちください」
- Quick Accessを設定した側のヘッドセットを操作しても、対応するアプリが起動していないとき：「Quick Accessに割り当てたアプリが起動していません」

ご注意

- 音声ガイダンスの言語を変更する場合は、約20分間ほど時間がかかります。
- 音声ガイダンスの言語を変更した状態でヘッドセットを初期化すると、言語も初期状態に戻ります。
- 音声ガイダンスの言語変更やソフトウェアアップデートを行った後に音声ガイダンスが聞こえなくなった場合は、いったんヘッドセットの電源を切り、もう一度電源を入れてください。

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

箱の中身を確認する

箱を開けたら、付属品がそろっているか確認してください。万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。
() 内は個数を示します。

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

USB Type-C®ケーブル (USB-A - USB-C®) (約20 cm) (1)



ヘッドホンケーブル (約1.2 m) (1)



キャリングケース (1)



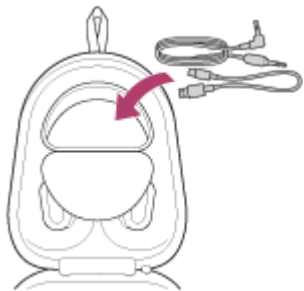
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

キャリングケースに収納する

使用後は、付属のキャリングケースに収納してください。

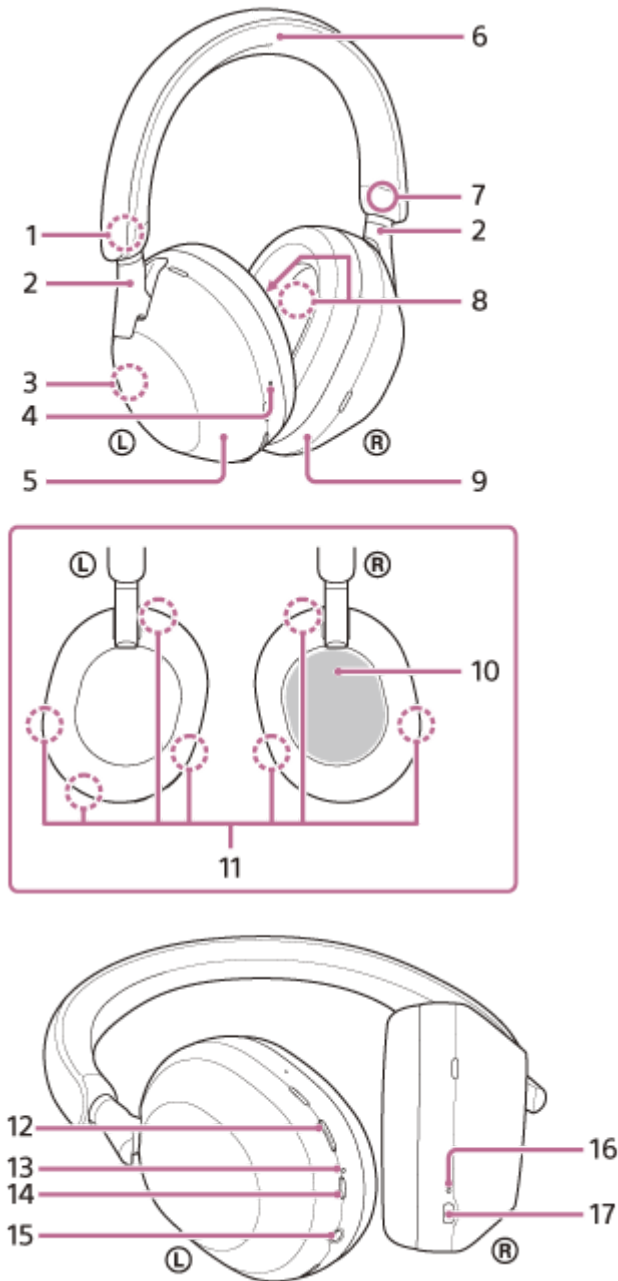
ケーブルを収納するには

ケーブルは、キャリングケース内の区切られたホルダーに収納してください。




ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

各部の名前



1. ① (左) マーク
2. スライダー (左、右)
ヘッドバンドの長さを調節します。
3. 内蔵アンテナ
Bluetoothアンテナが内蔵されています。
4. 凸点 (突起)
左ユニットには凸点 (突起) がついています。
5. 左ユニット
6. ヘッドバンド
7. ② (右) マーク
8. ノイズキャンセリング機能用マイク (内部) (左、右)
ノイズキャンセリング機能使用時のノイズを收音します。

9. 右ユニット
10. タッチセンサーコントロールパネル
タッチ操作で、Bluetooth接続機器の音楽再生リモートコントロールなどができます。
11. ノイズキャンセリング機能用マイク（外部）、音声収音用マイク（左、右）
ノイズキャンセリング機能使用時のノイズ、通話時やスピーク・トゥ・チャットモード使用時の声を収音します。
12. NC/AMB（ノイズキャンセリング／アンビエントサウンドモード）ボタン
13. ランプ（オレンジ／青）
ヘッドセットの電源状態と通信状態をオレンジ色と青色で表示します。
14. （電源）ボタン
15. ヘッドホンケーブル入力端子
付属のヘッドホンケーブルを使って音楽プレーヤーなどを接続します。奥まで「カチッ」と音がするまで差し込んでください。プラグが正しく接続されていないと、音が正常に聞こえません。
16. 充電ランプ（オレンジ）
充電中にオレンジ色に点灯します。
17. USB Type-C端子
付属のUSB Type-Cケーブルで、ヘッドセットをパソコンにつなぐか、別売のUSB ACアダプターを使って電源コンセントにつないで充電します。

関連項目

- [ランプ表示](#)
- [充電式電池の残量を確認する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

ランプ表示

ヘッドセットの動作状態をランプで確認できます。

● : 青色点灯 / ● : オレンジ色点灯 / - : 消灯

⏻ (電源) ボタンのランプ (青/オレンジ)

電源を入れたとき

● - ● (2回青色点滅)

このとき、充電式電池の残量が10%以下(要充電)の場合、続けて以下のように表示されます。

● - ● - ● (約15秒間遅いオレンジ色点滅を繰り返す)

電源を切るとき

● (約2秒間青色点灯)

充電式電池の残量を表示したとき

- 残量 : 10%より多い

● - ● (2回青色点滅)

- 残量 : 10%以下(要充電)

● - ● - ● (約15秒間遅いオレンジ色点滅を繰り返す)

詳しくは、「[充電式電池の残量を確認する](#)」をご覧ください。

充電式電池の残量が少なくなったとき

● - ● - ● (約15秒間遅いオレンジ色点滅を繰り返す)

Bluetooth機能

- 機器登録(ペアリング)モード

● ● - - ● ● - - (2回ずつ青色点滅を繰り返す)

- 未接続状態

● - - ● - - ● - - ● - - (約1秒間隔で青色点滅を繰り返す)

- 接続完了

● ● ● ● ● ● ● ● (約5秒間速い青色点滅を繰り返す)

- 接続状態

● - - - - - ● - - - - - (約5秒間隔で青色点滅を繰り返す)

- 着信中

● ● ● ● ● ● ● ● (速い青色点滅を繰り返す)

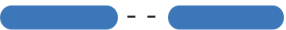

未接続状態や接続状態の表示は、一定の時間が経過すると自動的に消灯します。なにか操作を行うと、もう一度、一定時間点滅します。また、充電式電池の残量が少なくなると、オレンジ色点滅に変わります。

その他

- ヘッドホンケーブル接続中(電源が入っているとき)


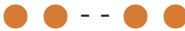
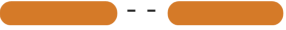
● - - - - - ● - - - - - (約5秒間隔で青色点滅を繰り返す)

一定の時間が経過すると自動的に消灯します。また、充電式電池の残量が少なくなると、オレンジ色点滅に変わります。

- ソフトウェアアップデート中
 -- (遅い青色点滅を繰り返す)
- 初期化完了
 (4回青色点滅)
詳しくは、「[初期化する](#)」をご覧ください。

USB Type-C端子の充電ランプ（オレンジ）

充電時

- 充電中
 (オレンジ色点灯)
充電が完了すると消灯します。
- 温度異常
 -- (2回ずつオレンジ色点滅を繰り返す)
- 充電異常
 -- (遅いオレンジ色点滅を繰り返す)

関連項目

- [充電式電池の残量を確認する](#)
- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

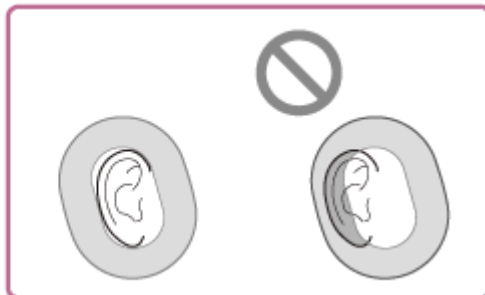
ヘッドセットを装着する

1 ヘッドセットを耳に装着する。

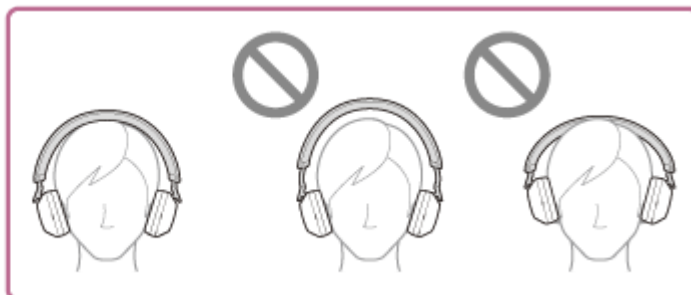
1. ヘッドセットの左右を確認する。
左ユニットには ㊤ (左) マーク表示、凸点 (突起)、 ㊤ (電源) ボタン、NC/AMBボタンがあります。
右ユニットには ㊦ (右) マーク表示があります。凸点 (突起)、ボタンはありません。
2. スライダーを伸ばす。
ヘッドセットを装着する前にスライダーをいっぱいに伸ばします。



3. ヘッドセットを装着する。
耳がイヤーパッド内に収まるようにヘッドセットを装着します。



4. スライダーの長さを調節する。
ヘッドバンドが頭頂部に触れるところまでスライダーの長さを調節します。



5. ユニットの角度を調節する。
耳の周りにイヤーパッドが均一に当たるように左右のユニットの角度を調節します。




ヘッドセットのスライダーを調節せずに装着した場合、適切な装着位置にならず痛みを感じたり、ノイズキャンセリング効果が弱いとすることがあります。またヘッドセットの装着検出機能が正しく動作せず、自動的に音楽が再生停止したり、自動電源オフ機能（省電力機能）が働き自動的にヘッドセットの電源が切れる場合があります。

ヘッドセットを耳に装着したり取り外したりすると

お買い上げ時の設定では、ヘッドセットを耳に装着したり耳から取り外したりすると、ヘッドセットの左ユニットに内蔵された近接センサーがそれを感知して、自動的にタッチセンサーコントロールパネルの操作や電源オフ、再生の一時停止などを制御します（装着検出）。

ヘッドセットを装着すると

- ヘッドセットの （電源）ボタンのランプが消灯します。
- ヘッドセットのタッチセンサーコントロールパネルで音楽再生や通話などの操作ができます。

ヘッドセットを取り外すと

- ヘッドセットを耳に装着して音楽を再生しているときに、ヘッドセットを取り外すと、自動的に再生を一時停止します。もう一度耳に装着すると再生を再開します。
- 電池を節約するため、ヘッドセットを装着しないまま15分経過すると、自動的にヘッドセットの電源が切れます。
- 誤動作を防止するため、ヘッドセットを取り外すと、タッチセンサーコントロールパネルをタップしても音楽再生や通話などの操作はできません。
また、NC/AMBボタンを押してもノイズキャンセリング機能を使用することはできません。
- ヘッドセットを耳に装着して通話しているときに、ヘッドセットを取り外すと、自動的にスマートフォン／携帯電話での通話に切り替わります。もう一度耳に装着すると、ヘッドセットでの通話に切り替わります。

ヒント

- “Sony | Headphones Connect”アプリを使用すると、装着検出による自動音楽再生停止／再生再開機能や、装着検出による自動電源オフ機能（省電力機能）の設定を変更できます。

ご注意

- 以下のような場合、装着検出が誤動作する場合があります。ヘッドセットを使用しない場合は電源を切ってください。
 - － ヘッドセットを首にかけた状態で、ハウジング内に顎が入る



- － 左ユニットのイヤーパッド内部に手を入れる



— ヘッドセットをカバンなどに入れる



— ヘッドセットをカバンなどに掛ける



- ヘッドセットを帽子や布、マフラー、髪の毛などの上から装着した場合、装着検出が正しく動作せず、タッチセンサーコントロールパネルを操作できない場合があります。耳がイヤーパッド内に入るように装着してください。
- 付属のヘッドホンケーブルをつないでいるときは、装着検出は動作しません。
- 装着検出による自動音楽再生停止／再生再開機能は、Bluetooth接続時のみ有効です。
- お使いの接続機器や再生アプリケーションによっては、装着検出による自動音楽再生停止／再生再開機能には対応していません。
- ヘッドセットを耳に装着したり取り外したりしたときに通話の音声切り替わるのは、装着検出による自動電源オフ機能を有効にしている場合のみです。

関連項目

- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)

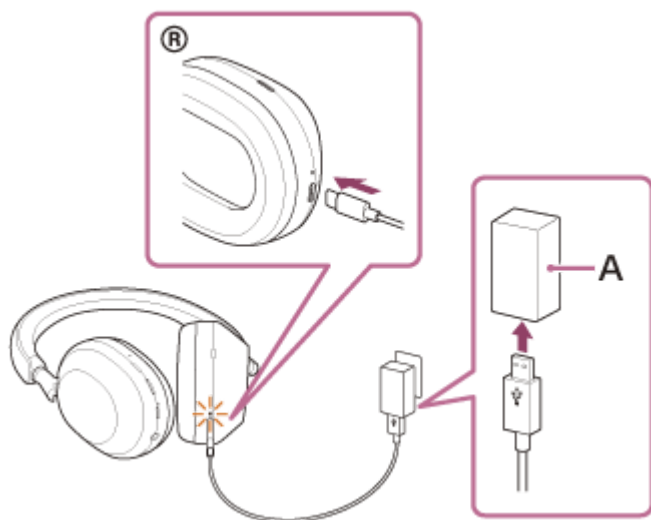
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

ヘッドセットを充電する

ヘッドセットは充電式リチウムイオン電池を内蔵しています。付属のUSB Type-Cケーブルを使って充電してからお使いください。

1 ヘッドセットを電源コンセントにつなぐ。

付属のUSB Type-Cケーブルと別売のUSB ACアダプター（推奨：AC-UD20）を使用します。



A : USB ACアダプター

- ヘッドセットの充電ランプ（オレンジ）が点灯します。
- 充電は、約3.5時間（*）で完了し、充電ランプは自動的に消灯します。

* 充電式電池の残量がない状態から、満充電するのにかかる時間です。使用条件により変わる場合があります。

充電が終了したら、USB Type-Cケーブルを外してください。

USB充電の推奨環境

推奨のUSB ACアダプター

AC-UD20（別売）

市販のUSB ACアダプター

出力電流1.5 A以上が供給可能な市販のUSB ACアダプター

（出力電流が 1.5 Aより少ない場合、充電時間が長くなったり、3分または10分充電での音楽再生時間が短くなります。）

市販のUSB PD（USB Power Delivery）対応ACアダプター

USB PD対応のACアダプターを使用すると、急速充電が可能になります。

出力が5 V/2 Aまたは9 V/3 Aに対応したものをお使いになることをおすすめします。

パソコン

USB端子が標準装備されたパソコン

- すべてのパソコンで動作を保証するものではありません。

- 自作パソコンは動作保証対象外です。

ヒント

- 付属のUSB Type-Cケーブルを使ってヘッドセットを起動中のパソコンに接続しても充電できます。
- ヘッドセットの電源が入っているときに充電を開始すると、ヘッドセットの電源は自動的に切れます。

ご注意

- 付属のUSB Type-Cケーブル以外では、充電できない場合があります。
- USB ACアダプターの機種によっては、充電できない場合があります。
- ヘッドセットを電源コンセントやパソコンと接続していると、ヘッドセットの電源オンや、Bluetooth機器の登録や接続、音楽再生などの操作は一切できません。
- パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態になると充電できなくなります。この場合はパソコンの設定を変更して、充電しなおしてください。
- 長い間使わなかったときは、充電式電池の持続時間が短くなることがあります。充電と放電を何度か繰り返すと、十分に充電できるようになります。長期にわたって保存する場合は、過放電防止のため、半年に1回程度の充電を行ってください。
- 長い間使わなかったときは、充電時間が長くなる場合があります。
- ヘッドセットは以下の原因などにより、充電中に異常を検知すると充電ランプ（オレンジ）が点滅します。この場合、もう一度充電温度範囲で充電を行ってください。それでも問題が解決しない場合は、ソニーの相談窓口にご相談ください。
 - － 充電温度範囲（5℃～35℃）を超える場合
 - － 充電式電池に問題がある場合
- ヘッドセットを長期間お使いにならなかった後に充電を行った場合、充電ランプ（オレンジ）がすぐに点灯しない場合があります。ランプが点灯するまでしばらくお待ちください。
- 電池の持続時間が極端に短くなった場合は、充電式電池の交換時期です。ソニーの修理相談窓口にご相談ください。
- 急激な温度変化や、直射日光、霧、砂、ほこりや電気的な衝撃を避けてください。また駐車中の車内には、絶対に放置しないでください。
- ヘッドセットをパソコンと接続するときは付属のUSB Type-Cケーブルのみを使い、必ず直接つないでください。USBハブなどを経由してヘッドセットを接続すると、正しく充電されません。
- USB PD対応すべての機器との動作を保証するものではありません。
- USB PD対応のACアダプターで充電を行った場合、右ユニットが熱くなることがありますが、故障ではありません。

関連項目

- [電話・ファックスで問い合わせる](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

使用可能時間

満充電時の使用可能時間は以下の通りです。

Bluetooth接続

連続音楽再生

コーデック	ノイズキャンセリング機能／外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）	使用可能時間
LDAC™	ノイズキャンセリング機能：オン	最大26時間
LDAC	外音取り込み機能：オン	最大26時間
LDAC	オフ	最大36時間
AAC	ノイズキャンセリング機能：オン	最大30時間
AAC	外音取り込み機能：オン	最大30時間
AAC	オフ	最大40時間
SBC	ノイズキャンセリング機能：オン	最大28時間
SBC	外音取り込み機能：オン	最大28時間
SBC	オフ	最大38時間

- 充電3分間で約1時間の音楽再生が可能です。また、充電10分間で約5時間の音楽再生が可能です。
- 出力が9 V / 2.3 A以上の市販のUSB PD対応ACアダプターを使用した場合は、充電3分間で約3時間 (*)の音楽再生が可能です。

* 周囲の温度が25℃～35℃で使用した場合の時間です。使用条件により変わる場合があります。

連続通話

ノイズキャンセリング機能／外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）	使用可能時間
ノイズキャンセリング機能：オン	最大24時間
外音取り込み機能：オン	最大24時間
オフ	最大32時間

ヘッドホンケーブル接続 電源オン時

ノイズキャンセリング機能／外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）	使用可能時間
ノイズキャンセリング機能：オン	最大28時間
外音取り込み機能：オン	最大28時間
オフ	最大38時間

ヒント

- “Sony | Headphones Connect”アプリを使用すると、接続しているコーデックの確認やDSEE Extreme™の切り替えができます。

ご注意

- 各種機能の設定や使用条件により、上記と実際の時間が異なる場合があります。
- 以下の設定を行うと、電池の使用可能時間が上記より短くなります。
 - DSEE Extreme
 - スピーク・トゥ・チャット
 - イコライザー
 - 音声で音声アシスタントを起動させる機能
 - サービスとの連携

関連項目


- [対応コーデックについて](#)
- [DSEE Extremeについて](#)
- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)

5-035-396-01(6) Copyright 2022 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

充電式電池の残量を確認する

以下の方法で充電式電池の残量を確認することができます。

ヘッドセットの電源が入っている状態で （電源）ボタンを押すと、充電式電池の残量を示す音声ガイダンスが流れます。

「バッテリー約XX%」（「XX」の数値は大まかな残量を示します。）

音声ガイダンスが示す充電式電池の残量は、実際の残量と異なる場合があります。おおよその目安として利用してください。

また、ヘッドセットの電源を入れたときに、充電式電池の残量が10%以下の場合はランプ（オレンジ）が約15秒間点滅します。

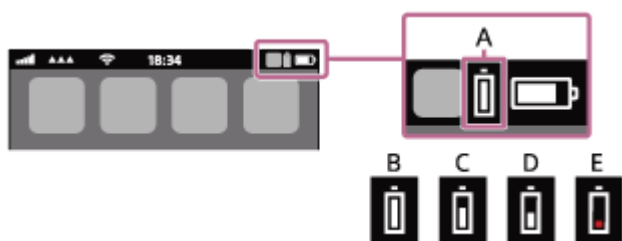
残量が少なくなると

警告音が鳴り、動作中のランプ表示（青）がオレンジ色に変わります。音声ガイダンス「バッテリーが少なくなりました」が流れたら、早めに充電してください。

残量が完全になると、警告音が鳴り、音声ガイダンス「バッテリーがなくなりました」が流れて、ヘッドセットの電源が自動的に切れます。

iPhone/iPod touchをお使いの場合

iPhone/iPod touchとHFP（Hands-free Profile）でBluetooth接続している間は、iPhone/iPod touchの画面にヘッドセットの充電式電池の残量を示すアイコンが表示されます。表示位置は一例です。



A：ヘッドセットの充電式電池の残量

大まかな残量を10段階で表示します。B～Eは表示例です。

B：100%

C：70%

D：50%

E：10%以下（要充電）

iOS 11以降の場合は、iPhone/iPod touchのウィジェットにもヘッドセットの充電式電池の残量が表示されます。

詳しくは、iPhone/iPod touchの取扱説明書をご覧ください。

なお、表示される残量は、実際の残量と異なる場合があります。おおよその目安として利用してください。

Android™搭載スマートフォン（OS 8.1以降）をお使いの場合

Android搭載スマートフォンとHFPでBluetooth接続している場合、[設定] - [機器接続] - [Bluetooth] を選べると、接続済みのBluetooth機器表示のところに、ヘッドセットの充電式電池の残量が「100%」、「70%」、「50%」、「10%」のように10段階で表示されます。上記の操作は一例です。詳しくは、Android搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

なお、表示される残量は、実際の残量と異なる場合があります。おおよその目安として利用してください。

ヒント

- ヘッドセットの充電式電池の残量は“Sony | Headphones Connect”アプリ上でも確認できます。Android搭載スマートフォン、iPhone/iPod touchとも対応しています。

ご注意

- スマートフォンとHFPで接続されていないと、充電式電池の残量が正常に表示されません。
- マルチポイント接続でiPhone/iPod touchまたはAndroid搭載スマートフォンを音楽用（A2DP）のみの接続にすると、充電式電池の残量が正常に表示されません。
- 長い間使わなかったときや、ソフトウェアアップデートの直後などは、充電式電池の残量が正しく表示されないことがあります。この場合は、充電と放電を何度か繰り返すと正しく表示されます。

関連項目

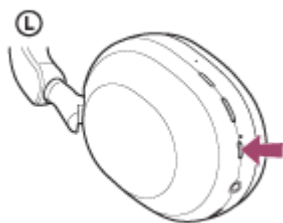
- [ランプ表示](#)
- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)

5-035-396-01(6) Copyright 2022 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

ヘッドセットの電源を入れる

- 1 ランプ（青）が点滅するまで、（電源）ボタンを約2秒間押したままにする。



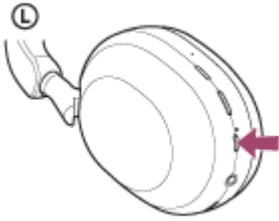
関連項目

- [ヘッドセットの電源を切る](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

ヘッドセットの電源を切る

- 1 ランプ（青）が消灯するまで、（電源）ボタンを約2秒間押したままにする。



ヒント

- “Sony | Headphones Connect”アプリからヘッドセットの電源を切ることもできます。
- ヘッドセットを装着しないまま15分経過すると、自動的にヘッドセットの電源が切れます。“Sony | Headphones Connect”アプリを使うと、この設定を変更できます。
- ヘッドセットをカバンなどに収納するときは、電源を切ってください。装着検出が誤動作する場合があります。

関連項目

- [ヘッドセットの電源を入れる](#)
- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

Bluetooth接続するには

Bluetooth機器に搭載されたBluetooth機能を使って音楽や通話をワイヤレスで楽しめます。

機器登録（ペアリング）

Bluetooth機能を使うには、あらかじめ、接続する互いの機器を登録しておく必要があります。この登録のことをペアリングといいます。

ヘッドセットと機器を操作してペアリングを行ってください。

ペアリング済みの機器と接続する

一度ペアリングすれば、再びペアリングする必要はありません。すでにヘッドセットとのペアリングが済んでいる機器それぞれの方法で接続してください。

関連項目

- [Android搭載スマートフォンを機器登録（ペアリング）してから接続する](#)
- [iPhoneを機器登録（ペアリング）してから接続する](#)
- [ウォークマン®を機器登録（ペアリング）してから接続する](#)
- [ウォークマン®を機器登録（ペアリング）してから接続する（Android搭載モデル）](#)
- [パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows® 10）](#)
- [パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows 8.1）](#)
- [パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Mac）](#)
- [Bluetooth機器を機器登録（ペアリング）してから接続する](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのiPhoneと接続する](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのウォークマン®と接続する](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのウォークマン®と接続する（Android搭載モデル）](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 10）](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 8.1）](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Mac）](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのBluetooth機器と接続する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

“Sony | Headphones Connect”アプリを使って接続する

お使いのAndroid搭載スマートフォン/iPhoneで“Sony | Headphones Connect”アプリを起動して、ヘッドセットとスマートフォンやiPhoneを接続できます。詳しくは、“Sony | Headphones Connect”アプリのヘルプガイドをご覧ください。

https://rd1.sony.net/help/mdr/hpc/h_zz/



Sony Headphones Connect



ご注意

- “Sony | Headphones Connect”アプリを使って接続したときに、一部のスマートフォンやiPhoneで接続が不安定になる場合があります。その場合は「[機器登録（ペアリング）済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する](#)」「[機器登録（ペアリング）済みのiPhoneと接続する](#)」の手順に従って接続してください。

関連項目

- [機器登録（ペアリング）済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのiPhoneと接続する](#)
- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)
- [“Sony | Headphones Connect”アプリをインストールする](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

Android搭載スマートフォンを機器登録（ペアリング）してから接続する


接続したい機器を登録しておく操作をペアリングといいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器をペアリングしてください。

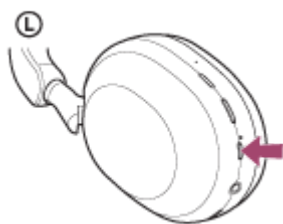
操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- ヘッドセットとAndroid搭載スマートフォンが1 m以内に置かれている。
- 充電式電池が十分に充電されている。
- 接続するAndroid搭載スマートフォンの取扱説明書を準備する。

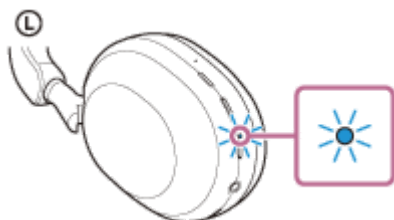
① ヘッドセットをペアリングモードにする。

お買い上げ後に初めてペアリングするときや、ヘッドセットを初期化した後（ヘッドセットにペアリング情報がない場合）は、ヘッドセットの電源を入ると自動的にペアリングモードになります。この場合は、手順 ② に進んでください。

ヘッドセットに2台目以降の機器をペアリングするとき（ヘッドセットにすでに他のペアリング情報がある場合）は、（電源）ボタンを約5秒間押したままにして、手動でペアリングモードにします。



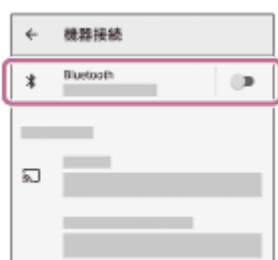
ランプ（青）が2回ずつ点滅を繰り返します。音声ガイダンス「ペアリングモード」が流れます。



② Android搭載スマートフォンの画面をロックしている場合は、解除する。

③ Android搭載スマートフォンでヘッドセットを検索する。

1. [設定] から [機器接続] の [Bluetooth] を選ぶ。



2. スイッチボタンをタッチしてBluetooth機能をオンにする。



4 【WH-1000XM5】をタッチする。



パスキー（*）を要求された場合は「0000」を入力してください。

互いの機器へのペアリングが完了し、ヘッドセットとスマートフォンが接続された状態になります。

接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。

接続されない場合は、「[機器登録（ペアリング）済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する](#)」をご覧ください。

Android搭載スマートフォンの画面に【WH-1000XM5】が表示されない場合は、もう一度手順 ③ の初めから操作してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのAndroid搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。
- ペアリングしたBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「[初期化する](#)」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内にペアリングを完了しなかった場合、ヘッドセットのペアリングモードは解除されます。この場合、電源をOFFにしてもう一度手順 ① から操作を行ってください。
- 一度Bluetooth機器をペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合はもう一度ペアリングが必要です。
 - 修理を行ったなど、ペアリング情報が削除されてしまったとき
 - 9台目の機器をペアリングしたとき
ヘッドセットは合計8台までの機器をペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングすると、8台の中で接続した日時が最も古いペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
 - 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
 - ヘッドセットを初期化したとき
すべてのペアリング情報が削除されます。この場合は、接続相手の機器からヘッドセットのペアリング情報を一度削除して、もう一度ペアリングをしてください。
- ヘッドセットは複数の機器をペアリングできますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

- [Bluetooth接続するには](#)

- 機器登録（ペアリング）済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する
- Bluetooth接続した機器の音楽を聞く
- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）
- 初期化する

5-035-396-01(6) Copyright 2022 Sony Corporation

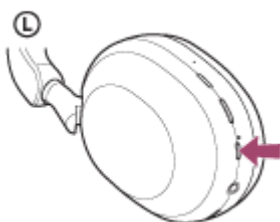
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

機器登録（ペアリング）済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する

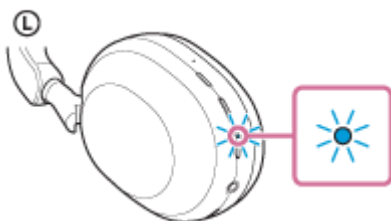
① Android搭載スマートフォンの画面をロックしている場合は、解除する。

② ヘッドセットの電源を入れる。

⌚ （電源）ボタンを約2秒間押したままにします。



電源が入ったことを知らせる通知音が鳴ります。
ボタンから指を離したあともランプ（青）が点滅します。



前回接続した機器に自動的に接続したときは、接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。
Android搭載スマートフォンで接続状態を確認してください。接続されていないときは手順 ③ に進んでください。

③ Android搭載スマートフォンにペアリング済みの機器を表示する。

1. [設定] の [機器接続] から [Bluetooth] を選ぶ。



2. スイッチボタンをタッチしてBluetooth機能をオンにする。



4 [WH-1000XM5] をタッチする。



接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのAndroid搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 接続するとき、接続機器側に [WH-1000XM5] [LE_WH-1000XM5] の両方、あるいはいずれか一方が表示される場合があります。両方または [WH-1000XM5] が表示される場合は [WH-1000XM5] を、[LE_WH-1000XM5] が表示される場合は [LE_WH-1000XM5] を選んでください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的に接続されることがあります。その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能をオフにするか電源を切ってください。
- スマートフォンと接続できなくなった場合は、スマートフォンでヘッドセットのペアリング情報をいったん削除してからペアリングしなおしてください。スマートフォンの操作については、スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- [Bluetooth接続するには](#)
- [Android搭載スマートフォンを機器登録（ペアリング）してから接続する](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

iPhoneを機器登録（ペアリング）してから接続する


接続したい機器を登録しておく操作をペアリングといいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器をペアリングしてください。

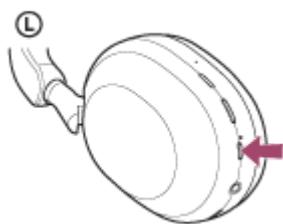
操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- ヘッドセットとiPhoneが1 m以内に置かれている。
- 充電式電池が十分に充電されている。
- 接続するiPhoneの取扱説明書を準備する。

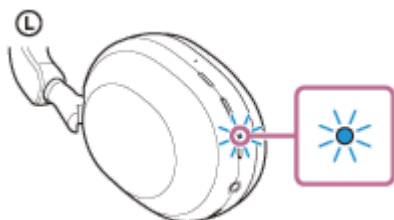
1 ヘッドセットをペアリングモードにする。

お買い上げ後に初めてペアリングするときや、ヘッドセットを初期化した後（ヘッドセットにペアリング情報がない場合）は、ヘッドセットの電源を入ると自動的にペアリングモードになります。この場合は、手順 2 に進んでください。

ヘッドセットに2台目以降の機器をペアリングするとき（ヘッドセットにすでに他のペアリング情報がある場合）は、（電源）ボタンを約5秒間押したままにして、手動でペアリングモードにします。



ランプ（青）が2回ずつ点滅を繰り返します。音声ガイダンス「ペアリングモード」が流れます。



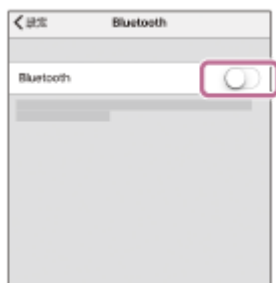
2 iPhoneの画面をロックしている場合は、解除する。

3 iPhoneでヘッドセットを検索する。

1. [設定] を選ぶ。
2. [Bluetooth] をタッチする。



3. スイッチボタンをタッチしてBluetooth機能をオンにする。



4 [WH-1000XM5] をタッチする。



パスキー（*）を要求された場合は「0000」を入力してください。

互いの機器へのペアリングが完了し、ヘッドセットとiPhoneが接続された状態になります。

接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。

接続されない場合は、「[機器登録（ペアリング）済みのiPhoneと接続する](#)」をご覧ください。

iPhoneの画面に「WH-1000XM5」が表示されない場合は、もう一度手順 ③ の初めから操作してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのiPhoneの取扱説明書をご覧ください。
- ペアリングしたBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「[初期化する](#)」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内にペアリングを完了しなかった場合、ヘッドセットのペアリングモードは解除されます。この場合、電源をOFFにしてもう一度手順 ① から操作を行ってください。
- 一度Bluetooth機器をペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合はもう一度ペアリングが必要です。
 - 修理を行ったなど、ペアリング情報が削除されてしまったとき
 - 9台目の機器をペアリングしたとき
ヘッドセットは合計8台までの機器をペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングすると、8台の中で接続した日時が最も古いペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
 - 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
 - ヘッドセットを初期化したとき
すべてのペアリング情報が削除されます。この場合は接続相手の機器からヘッドセットのペアリング情報を一度削除してもう一度ペアリングをしてください。
- ヘッドセットは複数の機器をペアリングできますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

- [Bluetooth接続するには](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのiPhoneと接続する](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)

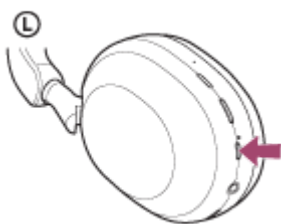
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

機器登録（ペアリング）済みのiPhoneと接続する

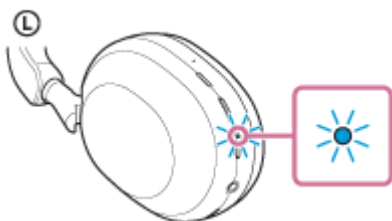
① iPhoneの画面をロックしている場合は、解除する。

② ヘッドセットの電源を入れる。

⌚ （電源）ボタンを約2秒間押したままにします。



電源が入ったことを知らせる通知音が鳴ります。
ボタンから指を離したあともランプ（青）が点滅します。



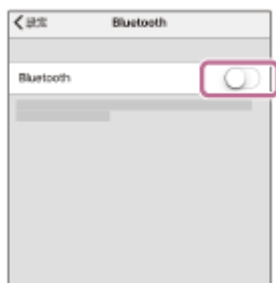
前回接続した機器に自動的に接続したときは、接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。
iPhoneで接続状態を確認してください。接続されていないときは手順 ③ に進んでください。

③ iPhoneにペアリング済みの機器を表示する。

1. [設定] を選ぶ。
2. [Bluetooth] をタッチする。



3. スイッチボタンをタッチしてBluetooth機能をオンにする。



4 [WH-1000XM5] をタッチする。



接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのiPhoneの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 接続するとき、接続機器側に [WH-1000XM5] [LE_WH-1000XM5] の両方、あるいはいずれか一方が表示される場合があります。両方または [WH-1000XM5] が表示される場合は [WH-1000XM5] を、[LE_WH-1000XM5] が表示される場合は [LE_WH-1000XM5] を選んでください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的に接続されることがあります。その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能をオフにするか電源を切ってください。
- iPhoneと接続できなくなった場合は、iPhoneでヘッドセットのペアリング情報をいったん削除してからペアリングしなおしてください。iPhoneの操作については、iPhoneの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- [Bluetooth接続するには](#)
- [iPhoneを機器登録（ペアリング）してから接続する](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

ウォークマン®を機器登録（ペアリング）してから接続する


接続したい機器を登録しておく操作をペアリングといいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器をペアリングしてください。

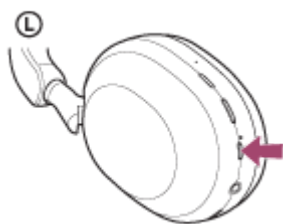
操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- ヘッドセットとウォークマン®が1 m以内に置かれている。
- 充電式電池が十分に充電されている。
- 接続するウォークマン®の取扱説明書を準備する。

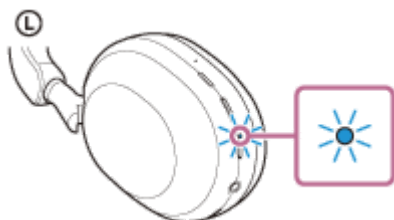
1 ヘッドセットをペアリングモードにする。

お買い上げ後に初めてペアリングするときや、ヘッドセットを初期化した後（ヘッドセットにペアリング情報がない場合）は、ヘッドセットの電源を入ると自動的にペアリングモードになります。この場合は、手順 2 に進んでください。

ヘッドセットに2台目以降の機器をペアリングするとき（ヘッドセットにすでに他のペアリング情報がある場合）は、（電源）ボタンを約5秒間押したままにして、手動でペアリングモードにします。



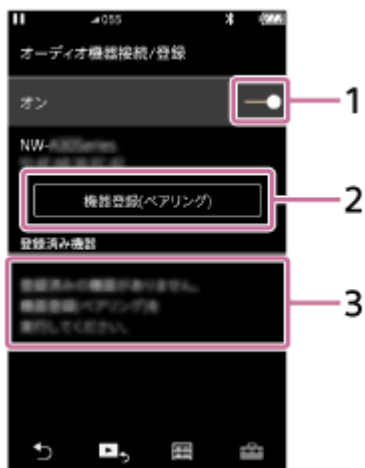
ランプ（青）が2回ずつ点滅を繰り返します。音声ガイダンス「ペアリングモード」が流れます。



2 ウォークマン®の画面をロックしている場合は、解除する。

3 ライブラリ画面から [（オプション／設定）] - [設定] - [Bluetooth] - [オーディオ機器接続／登録] の順に選ぶ。

4 (1) [オン] になっていることを確認し、(2) [機器登録（ペアリング）] を選んでから、(3) [WH-1000XM5] を選ぶ。



パスキー（*）を要求された場合は「0000」を入力してください。

互いの機器へのペアリングが完了し、ヘッドセットとウォークマン®が接続された状態になります。

接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。

接続されない場合は、「[機器登録（ペアリング）済みのウォークマン®と接続する](#)」をご覧ください。

ウォークマン®の画面に「WH-1000XM5」が表示されない場合は、もう一度手順 ③ から操作してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのウォークマン®の取扱説明書をご覧ください。
- ペアリングしたBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「[初期化する](#)」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内にペアリングを完了しなかった場合、ヘッドセットのペアリングモードは解除されます。この場合、電源をOFFにしてもう一度手順 ① から操作を行ってください。
- 一度Bluetooth機器をペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合はもう一度ペアリングが必要です。
 - 修理を行ったなど、ペアリング情報が削除されてしまったとき
 - 9台目の機器をペアリングしたとき
ヘッドセットは合計8台までの機器をペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングすると、8台の中で接続した日時が最も古いペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
 - 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
 - ヘッドセットを初期化したとき
すべてのペアリング情報が削除されます。この場合は接続相手の機器からヘッドセットのペアリング情報を一度削除してもう一度ペアリングをしてください。
- ヘッドセットは複数の機器をペアリングできますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

- [Bluetooth接続するには](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのウォークマン®と接続する](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)
- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

ウォークマン®を機器登録（ペアリング）してから接続する（Android搭載モデル）


接続したい機器を登録しておく操作をペアリングといいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器をペアリングしてください。

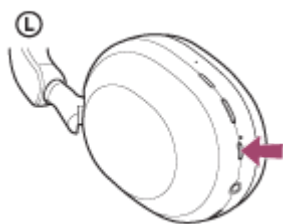
操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- ヘッドセットとウォークマン®が1 m以内に置かれている。
- 充電式電池が十分に充電されている。
- 接続するウォークマン®の取扱説明書を準備する。

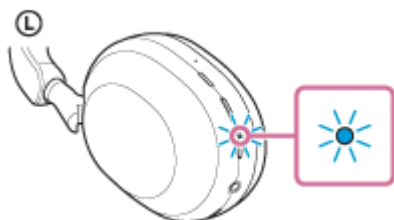
1 ヘッドセットをペアリングモードにする。

お買い上げ後に初めてペアリングするときや、ヘッドセットを初期化した後（ヘッドセットにペアリング情報がない場合）は、ヘッドセットの電源を入れると自動的にペアリングモードになります。この場合は、手順 2 に進んでください。

ヘッドセットに2台目以降の機器をペアリングするとき（ヘッドセットにすでに他のペアリング情報がある場合）は、（電源）ボタンを約5秒間押したままにして、手動でペアリングモードにします。




ランプ（青）が2回ずつ点滅を繰り返します。音声ガイダンス「ペアリングモード」が流れます。



2 ウォークマン®の画面をロックしている場合は、解除する。

3 ウォークマン®でヘッドセットを検索する。

1. [ 設定] - [接続済みの端末] - [新しいデバイスとペア設定する] を選ぶ。



4 [WH-1000XM5] をタッチして、[ペア設定する] を選ぶ。



パスキー（*）を要求された場合は「0000」を入力してください。

互いの機器へのペアリングが完了し、ヘッドセットとウォークマン®が接続された状態になります。

接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。

接続されない場合は、「[機器登録（ペアリング）済みのウォークマン®と接続する（Android搭載モデル）](#)」をご覧ください。

ウォークマン®の画面に「WH-1000XM5」が表示されない場合は、もう一度手順 ③ の初めから操作してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのウォークマン®の取扱説明書をご覧ください。
- ペアリングしたBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「[初期化する](#)」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内にペアリングを完了しなかった場合、ヘッドセットのペアリングモードは解除されます。この場合、電源をOFFにしてもう一度手順 ① から操作を行ってください。
- 一度Bluetooth機器をペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合にはもう一度ペアリングが必要です。
 - 修理を行ったなど、ペアリング情報が削除されてしまったとき
 - 9台目の機器をペアリングしたとき
ヘッドセットは合計8台までの機器をペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングすると、8台の中で接続した日時が最も古いペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
 - 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
 - ヘッドセットを初期化したとき
すべてのペアリング情報が削除されます。この場合は接続相手の機器からヘッドセットのペアリング情報を一度削除してもう一度ペアリングをしてください。
- ヘッドセットは複数の機器をペアリングできますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

- [Bluetooth接続するには](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのウォークマン®と接続する（Android搭載モデル）](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)
- [初期化する](#)

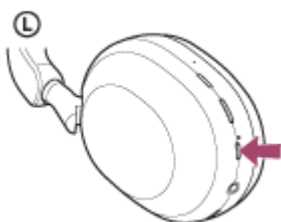
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

機器登録（ペアリング）済みのウォークマン®と接続する

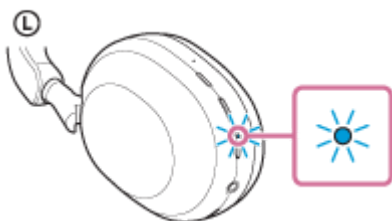
① ウォークマン®の画面をロックしている場合は、解除する。

② ヘッドセットの電源を入れる。

⏻ （電源）ボタンを約2秒間押したままにします。



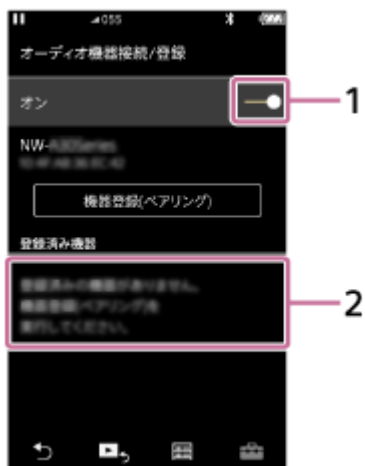
電源が入ったことを知らせる通知音が鳴ります。
ボタンから指を離れたあともランプ（青）が点滅します。



前回接続した機器に自動的に接続したときは、接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。
ウォークマン®で接続状態を確認してください。接続されていないときは手順 ③ に進んでください。

③ ライブラリ画面から [ （オプション／設定）] - [ 設定] - [Bluetooth] - [オーディオ機器接続／登録] の順に選ぶ。

④ (1) [オン] になっていることを確認し、(2) [WH-1000XM5] を選ぶ。



接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのウォークマン®の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 接続するとき、接続機器側に [WH-1000XM5] [LE_WH-1000XM5] の両方、あるいはいずれか一方が表示される場合があります。両方または [WH-1000XM5] が表示される場合は [WH-1000XM5] を、[LE_WH-1000XM5] が表示される場合は [LE_WH-1000XM5] を選んでください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的に接続されることがあります。その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能をオフにするか電源を切ってください。
- ウォークマン®と接続できなくなった場合は、ウォークマン®でヘッドセットのペアリング情報をいったん削除してからペアリングしなおしてください。ウォークマン®の操作については、ウォークマン®の取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- [Bluetooth接続するには](#)
- [ウォークマン®を機器登録（ペアリング）してから接続する](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)


5-035-396-01(6) Copyright 2022 Sony Corporation

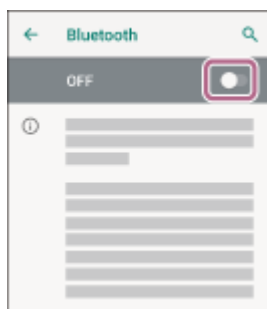
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

機器登録（ペアリング）済みのウォークマン®と接続する（Android搭載モデル）

① ウォークマン®の画面をロックしている場合は、解除する。

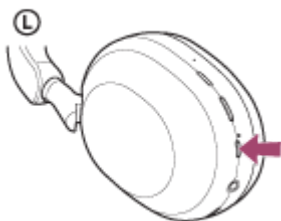
② ウォークマン®のBluetooth機能をオンにする。

1. [ 設定] - [接続済みの端末] - [接続の設定] - [Bluetooth] を選ぶ。
2. スイッチボタンをタッチしてBluetooth機能をオンにする。

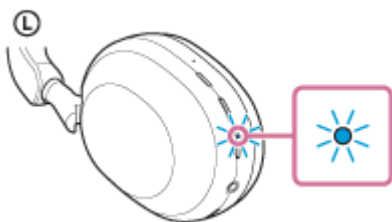


③ ヘッドセットの電源を入れる。

- ⌚ （電源）ボタンを約2秒間押したままにします。




電源が入ったことを知らせる通知音が鳴ります。
ボタンから指を離れたあともランプ（青）が点滅します。



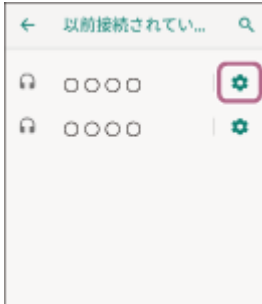
前回接続した機器に自動的に接続したときは、接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。
ウォークマン®で接続状態を確認してください。接続されていないときは手順 ④ に進んでください。

④ ウォークマン®にペアリング済みの機器を表示する。

1. [ 設定] - [接続済みの端末] - [以前接続されていたデバイス] を選ぶ。



- 5 [WH-1000XM5] の横にある （設定）アイコンをタッチして「接続」を選ぶ。



接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのウォークマン®の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 接続するとき、接続機器側に [WH-1000XM5] [LE_WH-1000XM5] の両方、あるいはいずれか一方が表示される場合があります。両方または [WH-1000XM5] が表示される場合は [WH-1000XM5] を、[LE_WH-1000XM5] が表示される場合は [LE_WH-1000XM5] を選んでください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的に接続されることがあります。その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能をオフにするか電源を切ってください。
- ウォークマン®と接続できなくなった場合は、ウォークマン®でヘッドセットのペアリング情報をいったん削除してからペアリングしなおしてください。ウォークマン®の操作については、ウォークマン®の取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- [Bluetooth接続するには](#)
- [ウォークマン®を機器登録（ペアリング）してから接続する（Android搭載モデル）](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows® 10）

接続したい機器を登録しておく操作をペアリングといいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器をペアリングしてください。

操作をはじめる前に、以下を確認してください。

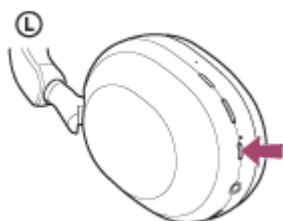
- パソコンに音楽再生の接続（A2DP）対応のBluetooth機能が搭載されている。
- パソコンのビデオ通話用アプリを使用する場合は、パソコンに通話の接続（HFP/HSP）対応のBluetooth機能が搭載されている。
- ヘッドセットとパソコンが1 m以内に置かれている。
- 充電式電池が十分に充電されている。
- 接続するパソコンの取扱説明書を準備する。
- お使いのパソコンによっては、内蔵のBluetoothアダプターをオンにする必要があります。Bluetoothアダプターをオンにする方法や、お使いのパソコンがBluetoothアダプターを内蔵しているかご不明な場合は、パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。
- お使いのOSのバージョンがWindows 10バージョン1803以降の場合、クイックペアリング機能を使ってかんたんにペアリングできます。クイックペアリング機能を使用する場合は、[スタート] ボタン - [設定] - [デバイス] - [Bluetoothとその他のデバイス] の順にクリックし、[クイック ペアリングを使用して接続するための通知を表示する] にチェックを入れてください。



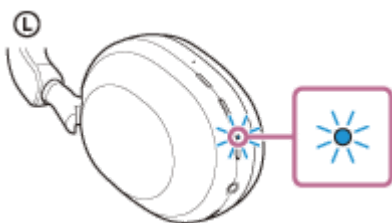
1 ヘッドセットをペアリングモードにする。

お買い上げ後に初めてペアリングするときや、ヘッドセットを初期化した後（ヘッドセットにペアリング情報がない場合）は、ヘッドセットの電源を入れると自動的にペアリングモードになります。この場合は、手順 ② に進んでください。

ヘッドセットに2台目以降の機器をペアリングするとき（ヘッドセットにすでに他のペアリング情報がある場合）は、**⏻**（電源）ボタンを約5秒間押したままにして、手動でペアリングモードにします。



ランプ（青）が2回ずつ点滅を繰り返します。音声ガイダンス「ペアリングモード」が流れます。

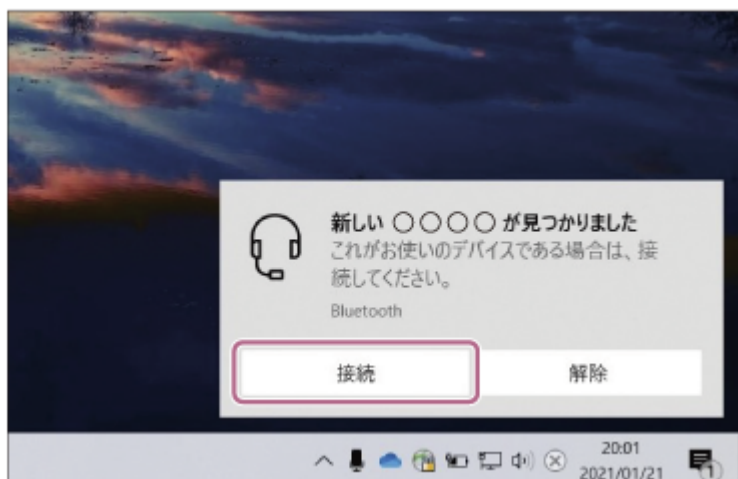


2 パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態になっている場合は、解除する。

3 パソコンでヘッドセットをペアリングする。

クイックペアリング機能を使用して接続する場合

1. パソコンの画面にポップアップメニューが表示されるので、[接続] を選ぶ。



クイックペアリング機能を使用せずに接続する場合

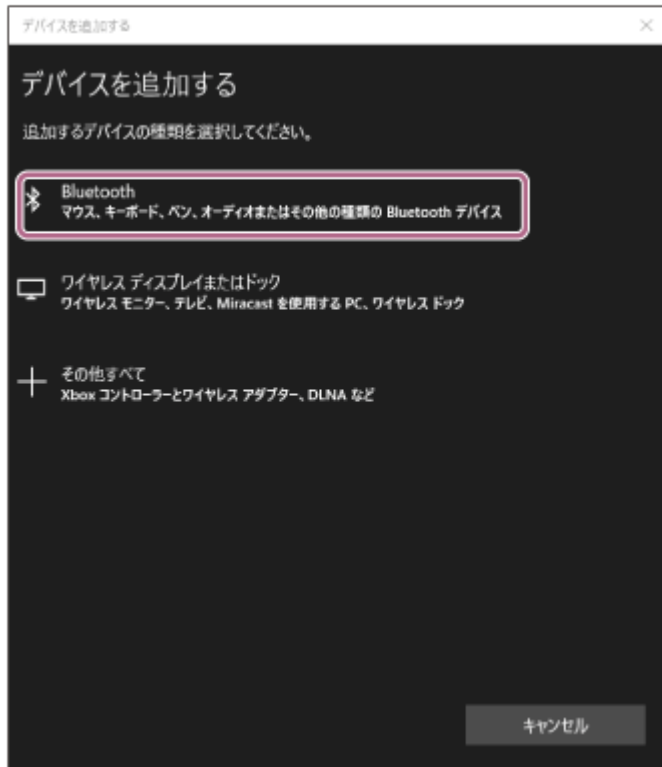
1. [スタート] ボタン - [設定] の順にクリックする。
2. [デバイス] をクリックする。



3. [Bluetoothとその他のデバイス] タブ - [Bluetooth] スイッチの順にクリックしてBluetooth機能をオンにし、[Bluetoothまたはその他のデバイスを追加する] をクリックする。



4. [Bluetooth] をクリックする。



5. [WH-1000XM5] をクリックする。



パスキー（*）を要求された場合は「0000」を入力してください。
互いの機器へのペアリングが完了し、ヘッドセットとパソコンが接続された状態になります。
接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。
接続されない場合は、「[機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 10）](#)」をご覧ください。
パソコンの画面に「WH-1000XM5」が表示されない場合は、もう一度手順 ③ の「クイックペアリング機能を使用せずに接続する場合」から操作してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- ペアリングしたBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「[初期化する](#)」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内にペアリングを完了しなかった場合、ヘッドセットのペアリングモードは解除されます。この場合、電源をOFFにしてもう一度手順 ① から操作を行ってください。
- 一度Bluetooth機器をペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合はもう一度ペアリングが必要です。
 - 修理を行ったなど、ペアリング情報が削除されてしまったとき
 - 9台目の機器をペアリングしたとき
ヘッドセットは合計8台までの機器をペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングすると、8台の中で接続した日時が最も古いペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
 - 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
 - ヘッドセットを初期化したとき
すべてのペアリング情報が削除されます。この場合は接続相手の機器からヘッドセットのペアリング情報を一度削除してもう一度ペアリングをしてください。
- ヘッドセットは複数の機器をペアリングできますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

- [Bluetooth接続するには](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 10）](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [パソコンでビデオ通話する](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)
- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows 8.1）


接続したい機器を登録しておく操作をペアリングといいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器をペアリングしてください。

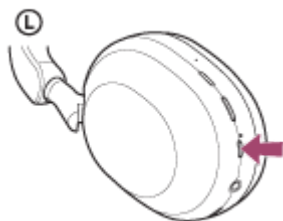
操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- パソコンに音楽再生の接続（A2DP）対応のBluetooth機能が搭載されている。
- パソコンのビデオ通話用アプリを使用する場合は、パソコンに通話の接続（HFP/HSP）対応のBluetooth機能が搭載されている。
- ヘッドセットとパソコンが1 m以内に置かれている。
- 充電式電池が十分に充電されている。
- 接続するパソコンの取扱説明書を準備する。
- お使いのパソコンによっては、内蔵のBluetoothアダプターをオンにする必要があります。Bluetoothアダプターをオンにする方法や、お使いのパソコンがBluetoothアダプターを内蔵しているかご不明な場合は、パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。

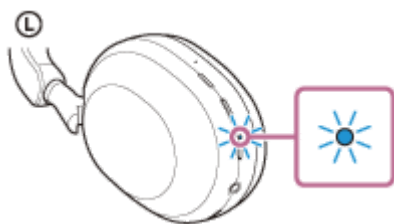
1 ヘッドセットをペアリングモードにする。

お買い上げ後に初めてペアリングするときや、ヘッドセットを初期化した後（ヘッドセットにペアリング情報がない場合）は、ヘッドセットの電源を入れると自動的にペアリングモードになります。この場合は、手順 ② に進んでください。

ヘッドセットに2台目以降の機器をペアリングするとき（ヘッドセットにすでに他のペアリング情報がある場合）は、（電源）ボタンを約5秒間押したままにして、手動でペアリングモードにします。



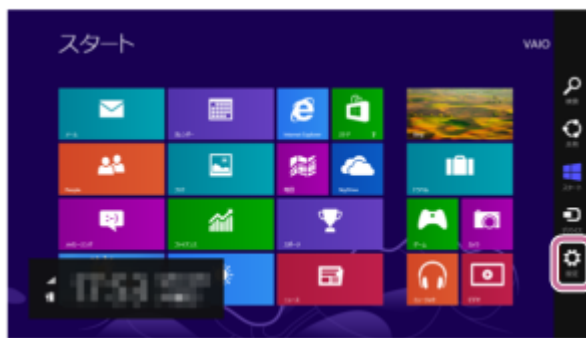
ランプ（青）が2回ずつ点滅を繰り返します。音声ガイダンス「ペアリングモード」が流れます。



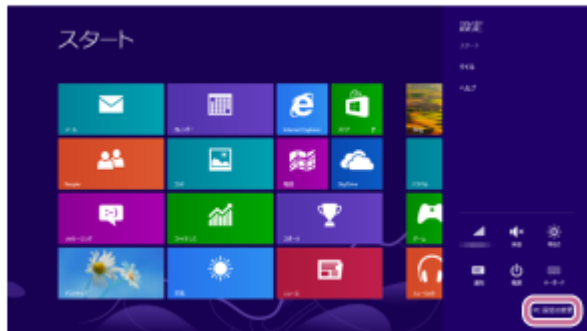
2 パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態になっている場合は、解除する。

3 パソコンでヘッドセットをペアリングする。

1. 画面の右上隅にマウスポインターを合わせて（タッチパネルの場合は画面の右端からスワイプして）、表示されたチャームから「設定」を選ぶ。



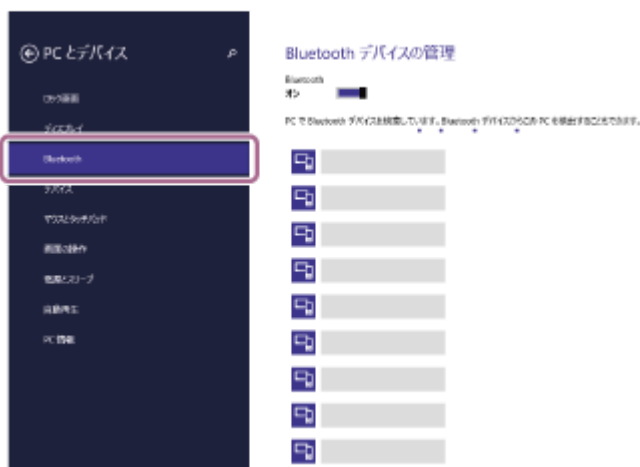
2. 「設定」チャームから「PC設定の変更」を選ぶ。



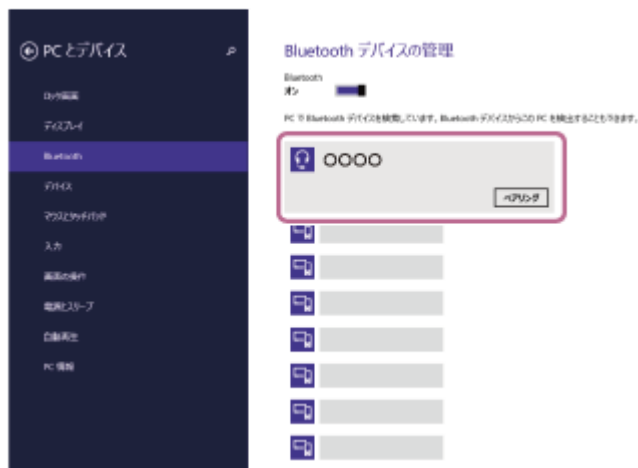
3. 「PC設定」画面から「PCとデバイス」を選ぶ。



4. 「Bluetooth」を選ぶ。



5. 「WH-1000XM5」を選び、「ペアリング」を選ぶ。



パスキー（*）を要求された場合は「0000」を入力してください。

互いの機器へのペアリングが完了し、ヘッドセットとパソコンが接続された状態になります。

接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。

接続されない場合は、「[機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 8.1）](#)」をご覧ください。

パソコンの画面に「WH-1000XM5」が表示されない場合は、もう一度手順 ③ の初めから操作してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- ペアリングしたBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「[初期化する](#)」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内にペアリングを完了しなかった場合、ヘッドセットのペアリングモードは解除されます。この場合、電源をOFFにしてもう一度手順 ① から操作を行ってください。
- 一度Bluetooth機器をペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合にはもう一度ペアリングが必要です。
 - － 修理を行ったなど、ペアリング情報が削除されてしまったとき
 - － 9台目の機器をペアリングしたとき
ヘッドセットは合計8台までの機器をペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングすると、8台の中で接続した日時が最も古いペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
 - － 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
 - － ヘッドセットを初期化したとき
すべてのペアリング情報が削除されます。この場合は接続相手の機器からヘッドセットのペアリング情報を一度削除してもう一度ペアリングをしてください。
- ヘッドセットは複数の機器をペアリングできますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

- [Bluetooth接続するには](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 8.1）](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [パソコンでビデオ通話する](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)
- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5


パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Mac）

接続したい機器を登録しておく操作をペアリングといいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器をペアリングしてください。

対応OS

macOS（バージョン10.15以降）

操作をはじめる前に、以下を確認してください。


- パソコンに音楽再生の接続（A2DP）対応のBluetooth機能が搭載されている。
- パソコンのビデオ通話用アプリを使用する場合は、パソコンに通話の接続（HFP/HSP）対応のBluetooth機能が搭載されている。
- ヘッドセットとパソコンが1 m以内に置かれている。
- 充電式電池が十分に充電されている。
- 接続するパソコンの取扱説明書を準備する。
- お使いのパソコンによっては、内蔵のBluetoothアダプターをオンにする必要があります。Bluetoothアダプターをオンにする方法や、お使いのパソコンがBluetoothアダプターを内蔵しているかご不明な場合は、パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。
- パソコンのスピーカーをONモードに設定する。
パソコンのスピーカーが  「消音（OFF）」モードになっていると、ヘッドセットからも音が出ません。

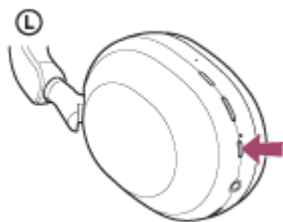
パソコンのスピーカーがONモードの状態



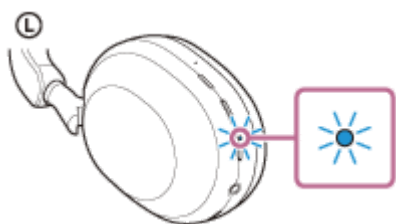
1 ヘッドセットをペアリングモードにする。

お買い上げ後に初めてペアリングするときや、ヘッドセットを初期化した後（ヘッドセットにペアリング情報がない場合）は、ヘッドセットの電源を入れると自動的にペアリングモードになります。この場合は、手順 ② に進んでください。

ヘッドセットに2台目以降の機器をペアリングするとき（ヘッドセットにすでに他のペアリング情報がある場合）は、（電源）ボタンを約5秒間押したままにして、手動でペアリングモードにします。



ランプ（青）が2回ずつ点滅を繰り返します。音声ガイダンス「ペアリングモード」が流れます。



② パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態になっている場合は、解除する。

③ パソコンでヘッドセットをペアリングする。

1. 画面下のDockで [ （システム環境設定）] - [Bluetooth] の順に選ぶ。



2. [Bluetooth] 画面から [WH-1000XM5] を選び、[接続] をクリックする。



パスキー（*）を要求された場合は「0000」を入力してください。

互いの機器へのペアリングが完了し、ヘッドセットとパソコンが接続された状態になります。

接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。

接続されない場合は、「[機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Mac）](#)」をご覧ください。

パソコンの画面に [WH-1000XM5] が表示されない場合は、もう一度手順 ③ の初めから操作してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- ペアリングしたBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「[初期化する](#)」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内にペアリングを完了しなかった場合、ヘッドセットのペアリングモードは解除されます。この場合、電源をOFFにしてもう一度手順 ① から操作を行ってください。
- 一度Bluetooth機器をペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合はもう一度ペアリングが必要です。
 - 修理を行ったなど、ペアリング情報が削除されてしまったとき
 - 9台目の機器をペアリングしたときヘッドセットは合計8台までの機器をペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングすると、8台の中で接続した日時が最も古いペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。

- 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
- ヘッドセットを初期化したとき
すべてのペアリング情報が削除されます。この場合は接続相手の機器からヘッドセットのペアリング情報を一度削除してもう一度ペアリングをしてください。
- ヘッドセットは複数の機器をペアリングできますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

- [Bluetooth接続するには](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Mac）](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [パソコンでビデオ通話する](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)
- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 10）

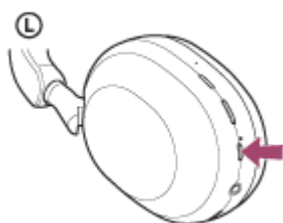
操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- お使いのパソコンによっては、内蔵のBluetoothアダプターをオンにする必要があります。Bluetoothアダプターをオンにする方法や、お使いのパソコンがBluetoothアダプターを内蔵しているかご不明な場合は、パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。

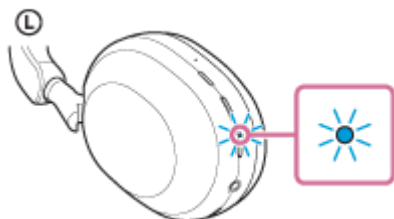
1 パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態になっている場合は、解除する。

2 ヘッドセットの電源を入れる。

⏻ （電源）ボタンを約2秒間押したままにします。



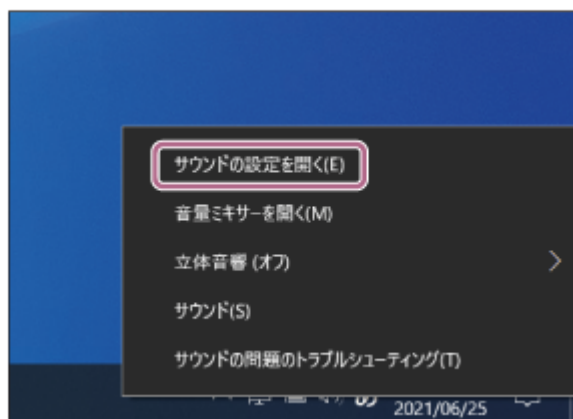
電源が入ったことを知らせる通知音が鳴ります。
ボタンから指を離したあともランプ（青）が点滅します。



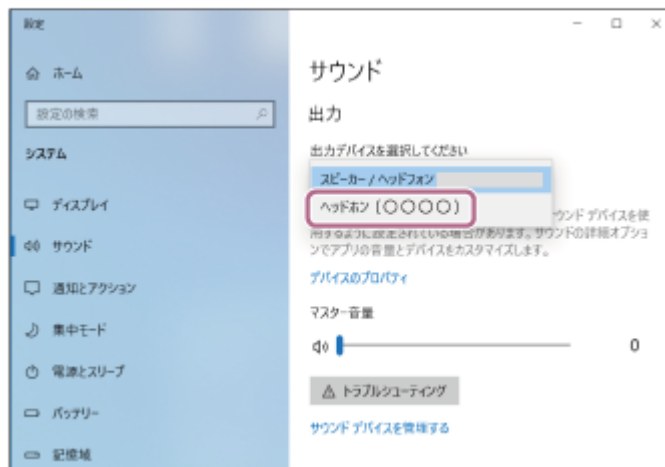
前回接続した機器に自動的に接続したときは、接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。
パソコンで接続状態を確認してください。接続されていないときは手順 3 に進んでください。

3 パソコンでヘッドセットを選ぶ。

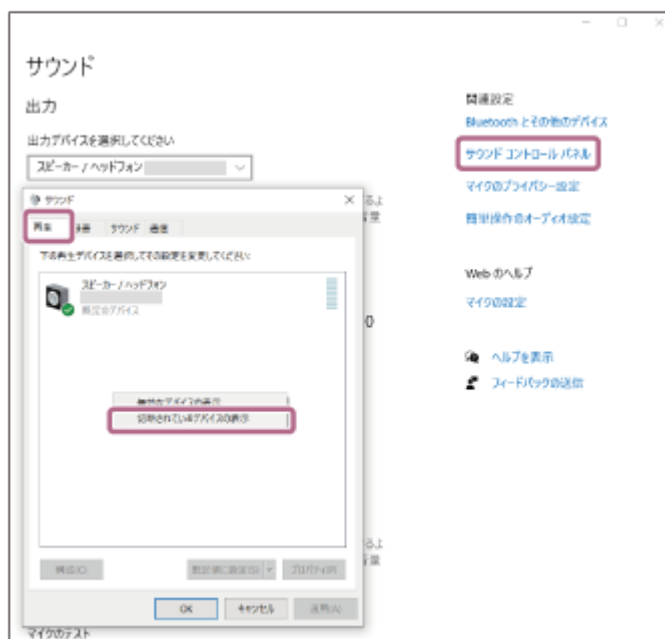
1. ツールバーのスピーカーアイコンを右クリックして「サウンドの設定を開く」を選ぶ。



2. 「[出力デバイスを選択してください]」のプルダウンメニューから「ヘッドホン（WH-1000XM5 Stereo）」を選ぶ。



プルダウンメニューに「ヘッドホン（WH-1000XM5 Stereo）」が表示されていない場合は、「サウンドコントロール パネル」をクリック後、「サウンド」の「再生」タブ画面上で右クリックし、「[切断されているデバイスの表示]」にチェックを入れてください。



3. 表示されたメニューから「接続」を選ぶ。



接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。



- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 音楽再生時の音質がよい場合、パソコンの設定で音楽再生の接続（A2DP）が有効になっていることを確認してください。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的に接続されることがあります。その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能をオフにするか電源を切ってください。
- パソコンと接続できなくなった場合は、パソコンでヘッドセットのペアリング情報をいったん削除してからペアリングしなおしてください。パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- [Bluetooth接続するには](#)
- [パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows® 10）](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 8.1）

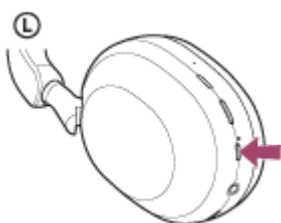
操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- お使いのパソコンによっては、内蔵のBluetoothアダプターをオンにする必要があります。Bluetoothアダプターをオンにする方法や、お使いのパソコンがBluetoothアダプターを内蔵しているかご不明な場合は、パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。

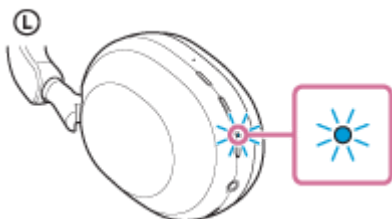
① パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態になっている場合は、解除する。

② ヘッドセットの電源を入れる。

⏻ （電源）ボタンを約2秒間押したままにします。



電源が入ったことを知らせる通知音が鳴ります。
ボタンから指を離したあともランプ（青）が点滅します。



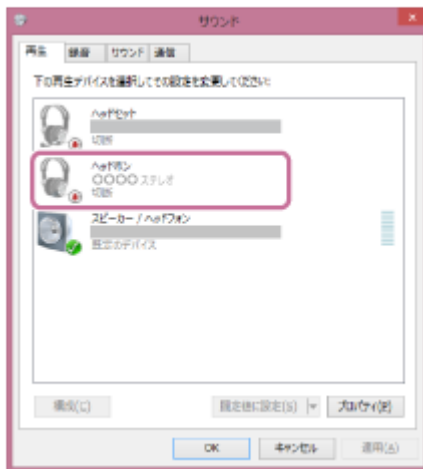
前回接続した機器に自動的に接続したときは、接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。
パソコンで接続状態を確認してください。接続されていないときは手順 ③ に進んでください。

③ パソコンでヘッドセットを選ぶ。

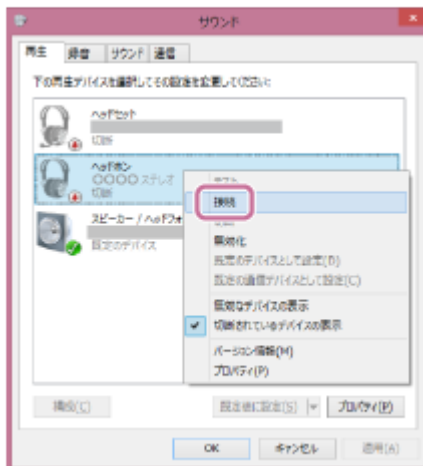
1. スタート画面から、[デスクトップ] を選ぶ。
2. [スタート] ボタンを右クリックして、ポップアップメニューから [コントロールパネル] を選ぶ。
3. [ハードウェアとサウンド] - [サウンド] の順に選ぶ。



4. [WH-1000XM5] を右クリックする。
[サウンド] 画面に [WH-1000XM5] が表示されていない場合は、[サウンド] 画面上で右クリックし、
[切断されているデバイスの表示] にチェックを入れてください。



5. 表示されたメニューから [接続] を選ぶ。



接続が完了します。

接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。



ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 音楽再生時の音質がよくない場合は、パソコンの設定で音楽再生の接続（A2DP）が有効になっていることを確認してください。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的に接続されることがあります。その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能をオフにするか電源を切ってください。
- パソコンと接続できなくなった場合は、パソコンでヘッドセットのペアリング情報をいったん削除してからペアリングしなおしてください。パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- [Bluetooth接続するには](#)
- [パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows 8.1）](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Mac）

対応OS

macOS（バージョン10.15以降）

操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- お使いのパソコンによっては、内蔵のBluetoothアダプターをオンにする必要があります。Bluetoothアダプターをオンにする方法や、お使いのパソコンがBluetoothアダプターを内蔵しているかご不明な場合は、パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。
- パソコンのスピーカーをONモードに設定する。
パソコンのスピーカーが ■ 「消音（OFF）」モードになっていると、ヘッドセットからも音が出ません。

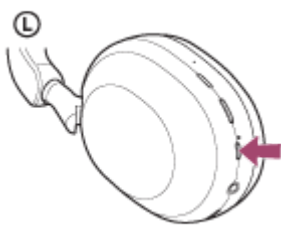
パソコンのスピーカーがONモードの状態



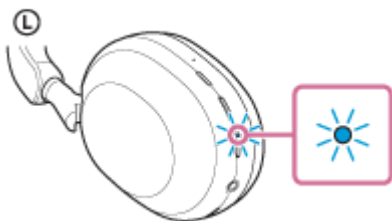
① パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態になっている場合は、解除する。

② ヘッドセットの電源を入れる。

⌵ （電源）ボタンを約2秒間押したままにします。



電源が入ったことを知らせる通知音が鳴ります。
ボタンから指を離したあともランプ（青）が点滅します。



前回接続した機器に自動的に接続したときは、接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。
パソコンで接続状態を確認してください。接続されていないときは手順 ③ に進んでください。

③ パソコンでヘッドセットを選ぶ。

1. 画面下のDockで [ （システム環境設定）] - [Bluetooth] の順に選ぶ。



2. [Bluetooth] 画面で、パソコンのControlボタンを押しながら [WH-1000XM5] をクリックし、ポップアップメニューから [接続] を選ぶ。



接続が完了します。

接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 音楽再生時の音質がよくない場合は、パソコンの設定で音楽再生の接続（A2DP）が有効になっていることを確認してください。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的に接続されることがあります。その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能をオフにするか電源を切ってください。
- パソコンと接続できなくなった場合は、パソコンでヘッドセットのペアリング情報をいったん削除してからペアリングしなおしてください。パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- [Bluetooth接続するには](#)
- [パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Mac）](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

Bluetooth機器を機器登録（ペアリング）してから接続する


接続したい機器を登録しておく操作をペアリングといいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器をペアリングしてください。

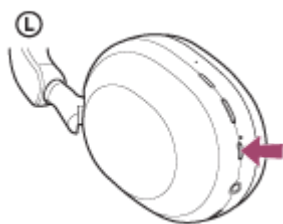
操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- ヘッドセットとBluetooth機器が1 m以内に置かれている。
- 充電式電池が十分に充電されている。
- 接続するBluetooth機器の取扱説明書を準備する。

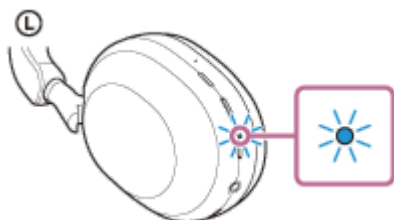
1 ヘッドセットをペアリングモードにする。

お買い上げ後に初めてペアリングするときや、ヘッドセットを初期化した後（ヘッドセットにペアリング情報がない場合）は、ヘッドセットの電源を入れると自動的にペアリングモードになります。この場合は、手順 2 に進んでください。

ヘッドセットに2台目以降の機器をペアリングするとき（ヘッドセットにすでに他のペアリング情報がある場合）は、（電源）ボタンを約5秒間押したままにして、手動でペアリングモードにします。



ランプ（青）が2回ずつ点滅を繰り返します。音声ガイダンス「ペアリングモード」が流れます。



2 Bluetooth機器でペアリング操作を行い、ヘッドセットを検索する。

Bluetooth機器の画面の検出機器一覧に「WH-1000XM5」と表示されます。
表示されない場合は、もう一度手順 1 から行ってください。

3 Bluetooth機器の画面に表示されている「WH-1000XM5」を選び、互いの機器をペアリングする。

パスキー（*）を要求された場合は「0000」を入力してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

4 Bluetooth機器でBluetooth接続操作を行う。

ペアリングが完了すると自動的にヘッドセットと接続される機器もあります。接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。

接続されない場合は、「[機器登録（ペアリング）済みのBluetooth機器と接続する](#)」をご覧ください。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。
- ペアリングしたBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「[初期化する](#)」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内にペアリングを完了しなかった場合、ヘッドセットのペアリングモードは解除されます。この場合、電源をOFFにしてもう一度手順 **①** から操作を行ってください。
- 一度Bluetooth機器をペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合にはもう一度ペアリングが必要です。
 - 修理を行ったなど、ペアリング情報が削除されてしまったとき
 - 9台目の機器をペアリングしたとき
ヘッドセットは合計8台までの機器をペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングすると、8台の中で接続した日時が最も古いペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
 - 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
 - ヘッドセットを初期化したとき
すべてのペアリング情報が削除されます。この場合は接続相手の機器からヘッドセットのペアリング情報を一度削除してもう一度ペアリングをしてください。
- ヘッドセットは複数の機器をペアリングできますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

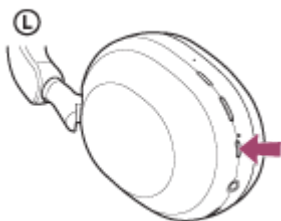
- [Bluetooth接続するには](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのBluetooth機器と接続する](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)
- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

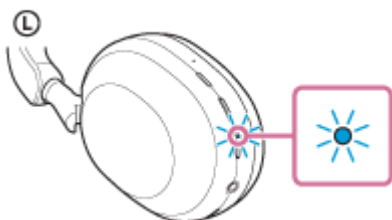
機器登録（ペアリング）済みのBluetooth機器と接続する

1 ヘッドセットの電源を入れる。

⌚ （電源）ボタンを約2秒間押したままにします。



電源が入ったことを知らせる通知音が鳴ります。ボタンから指を離したあともランプ（青）が点滅します。



前回接続した機器に自動的に接続したときは、接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。
Bluetooth機器で接続状態を確認してください。接続されていないときは手順 2 に進んでください。

2 Bluetooth機器を操作してBluetooth接続する。

Bluetooth機器の操作については、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。接続すると、接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 接続するとき、接続機器側に [WH-1000XM5] [LE_WH-1000XM5] の両方、あるいはいずれか一方が表示される場合があります。両方または [WH-1000XM5] が表示される場合は [WH-1000XM5] を、[LE_WH-1000XM5] が表示される場合は [LE_WH-1000XM5] を選んでください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的に接続されることがあります。その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能をオフにするか電源を切ってください。
- Bluetooth機器と接続できなくなった場合は、Bluetooth機器でヘッドセットのペアリング情報をいったん削除してからペアリングしなおしてください。Bluetooth機器の操作については、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- [Bluetooth接続するには](#)

- Bluetooth機器を機器登録（ペアリング）してから接続する
- Bluetooth接続した機器の音楽を聞く
- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）

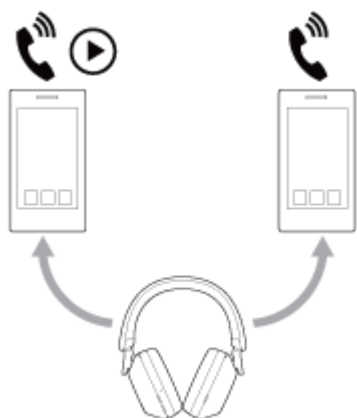
5-035-396-01(6) Copyright 2022 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

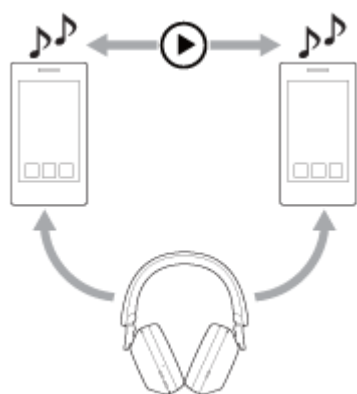
2台の機器と同時に接続する（マルチポイント接続）

“Sony | Headphones Connect”アプリで「2台の機器と同時に接続」をオンにすると、ヘッドセットに2台の機器を同時にBluetooth接続して、以下のようなことができます。

- 2台のスマートフォンの着信を待ち受ける
ヘッドセットで一方のスマートフォンで再生した音楽を聞き、両方のスマートフォンの着信を待ち受けし、着信があれば通話できます。



- 2台の機器の音楽再生を切り替える
一方の機器からの音楽再生を、Bluetooth接続をしないおすことなく、もう一方の機器からの再生に切り替えることができます。



2台の機器を同時にBluetooth接続する

接続する前に、2台の機器のうちいずれか一方に“Sony | Headphones Connect”アプリがインストールされていることを確認してください。

- 1 ヘッドセットと2台の機器を、それぞれ機器登録（ペアリング）する。
- 2 “Sony | Headphones Connect”アプリがインストールされている機器を操作して、ヘッドセットとBluetooth接続する。
- 3 “Sony | Headphones Connect”アプリで、「2台の機器と同時に接続」をオンにする。
- 4 2台目の機器を操作して、ヘッドセットとBluetooth接続する。

2台の機器をBluetooth接続した状態で、ペアリング済みの別の機器をBluetooth接続することができます。
3台目の機器を操作してヘッドセットとBluetooth接続しようとする、最後に音楽を再生していた機器のBluetooth接続は維持され、もう一方の機器とのBluetooth接続が切断されます。その後、3台目の機器がヘッドセットとBluetooth接続されます。

2台の機器をBluetooth接続した状態での音楽再生

- ヘッドセットを操作して音楽を再生する場合、最後に再生していた機器からの音楽再生になります。
- もう一方の機器から音楽を再生したいときは、音楽を再生している機器の再生を停止し、もう一方の機器を操作して音楽を再生します。
1台目の機器で音楽を再生している状態で、2台目の機器を操作して再生を始めても、ヘッドセットからは1台目からの音楽が継続して聞こえます。この状態で1台目の再生を停止すると、2台目からの音楽を聞くことができます。

2台の機器をBluetooth接続した状態での通話

- ヘッドセットに2台のスマートフォンなどを同時にBluetooth接続すると、2台とも着信待ち受け状態になります。
- 1台目の機器に着信があると、着信音はヘッドセットから聞こえます。
ヘッドセットで通話をしているときに、2台目の機器に着信があると、着信音は2台目の機器から聞こえます。1台目の機器の通話を終了すると、2台目の機器からの着信音がヘッドセットから聞こえるようになります。

関連項目

- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)
- [Bluetooth接続するには](#)

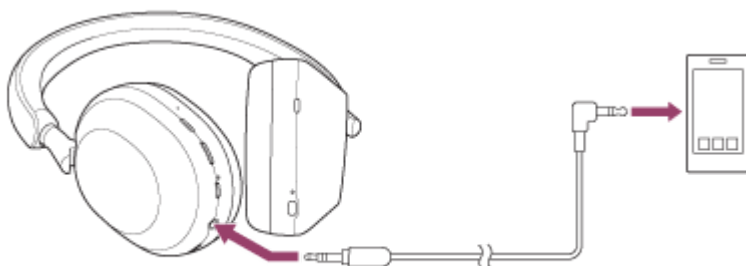
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

付属のヘッドホンケーブルをつないで使う

航空機内などBluetooth機器の使用が制限されている場所では、付属のヘッドホンケーブルをつないでヘッドセットの電源を入ると、ノイズキャンセリングヘッドホンとして使用できます。
ハイレゾリレーション・オーディオ再生に対応しています。

1 ヘッドホンケーブル入力端子に、付属のヘッドホンケーブルで聞きたい機器をつなぐ。

L型プラグは必ず接続機器側につないでください。



ヒント

- ヘッドセットの電源を切っても、音楽を聞くことができます。この場合はノイズキャンセリング機能は使用できません。
- ハイレゾリレーション・オーディオを再生するときや、ノイズキャンセリング機能、外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）などを使用するときは、ヘッドセットの電源を入れて使用してください。
- 付属のヘッドホンケーブルをつないでヘッドセットの電源を入れて使用しているときに、ヘッドセットからヘッドホンケーブルを抜くと、自動的に電源が切れます。
- 電話がかかってくると、着信音はヘッドセットから聞こえます。スマートフォンや携帯電話を操作して電話を受け、スマートフォンや携帯電話のマイクで通話してください。相手の音声はヘッドセットで聞くことができます。スマートフォンや携帯電話からヘッドホンケーブルを外すと、スマートフォンや携帯電話のマイクとスピーカーで通話ができます。

ご注意

- 必ず付属のヘッドホンケーブルをご使用ください。
- 奥まで「カチッ」と音がするまで差し込んでください。プラグが正しく接続されていないと、音が正常に聞こえません。
- ヘッドホンケーブル使用時は、Bluetooth機能は使用できません。
- 付属のヘッドホンケーブルをつないでヘッドセットの電源を入れているときは、クイックアテンションモード、スピーク・トゥ・チャットは使用できます。音量調節、再生／一時停止などの操作は再生機器側で行ってください。ヘッドセットの電源を切ると、クイックアテンションモード、スピーク・トゥ・チャットは使用できなくなります。
- 電源がオフのときはNC/AMB（ノイズキャンセリング／アンビエントサウンドモード）ボタンは使用できません。
- ヘッドホンケーブルをつないで通話するときは、スピーク・トゥ・チャットを無効にしてください。スピーク・トゥ・チャットを有効にしていると、相手の音声は聞こえなくなります。

- ノイズキャンセリング機能を使う
- 音楽再生中に周囲の音を聞く（外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード））
- すばやく周囲の音を聞きたいときは（クイックアテンションモード）
- ヘッドセットを耳に装着したまま会話をする（スピーク・トゥ・チャット）

5-035-396-01(6) Copyright 2022 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

Bluetooth接続した機器の音楽を聞く

お使いのBluetooth機器が次のプロファイルに対応していれば、Bluetooth接続した機器の音楽をヘッドセットで聞いたり、ヘッドセットから機器を操作したりできます。

- A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)
高音質な音楽をワイヤレスで楽しめます。
- AVRCP (Audio Video Remote Control Profile)
音量調節などの操作ができます。

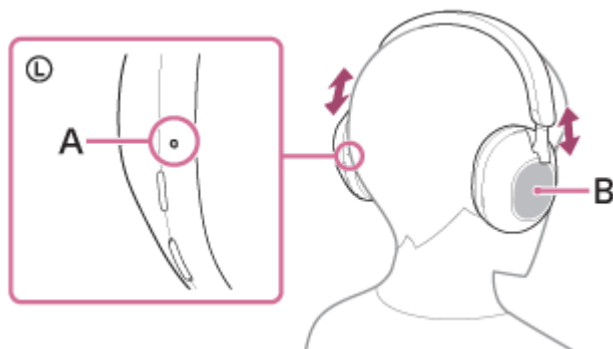
操作はBluetooth機器によって異なることがあります。お使いのBluetooth機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

1 ヘッドセットとBluetooth機器を接続する。

2 ヘッドセットを耳に装着する。

スライダーを伸ばしてヘッドバンドの長さを調節します。

① (左) マーク表示のあるほうを左耳に、② (右) マーク表示のあるほうを右耳にして、ヘッドセットを頭にかけます。① (左) マーク側には凸点 (突起) がついています。



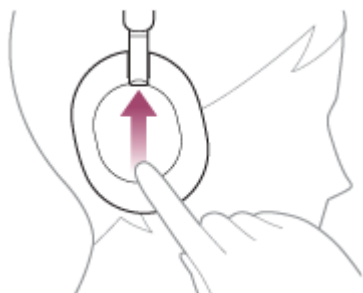
A : 凸点 (突起)

B : タッチセンサーコントロールパネル

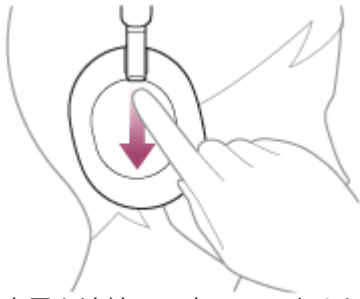
3 Bluetooth機器を再生して、適度な音量に調節する。

4 ヘッドセットのタッチセンサーコントロールパネルを操作して、音量を調節する。

- 音量を上げる : 上にすべらせて離す動作を、お好みの音量になるまで繰り返します。



- 音量を下げる : 下にすべらせて離す動作を、お好みの音量になるまで繰り返します。



- 音量を連続して変える：上または下にすべらせて触れたまま指を止めます。好みの音量になったら指を離します。

音量が最大または最小になると、警告音が鳴ります。

ヒント

- ヘッドセットはSCMS-T方式のコンテンツ保護に対応しています。SCMS-T方式対応の携帯電話やワンセグTVなどの音楽（または音声）を、ヘッドセットで聞くことができます。
- Bluetooth機器によっては、機器側で音量調節や音声出力先の設定が必要な場合があります。
- ヘッドセットは、通話するときの音量と音楽を聞くときの音量を、それぞれ調節することができます。音楽再生中に音量を変えても、通話時の音量は変わりません。

ご注意

- 通信状態が悪いと、ヘッドセットの操作に対してBluetooth機器が誤動作する場合があります。

関連項目

- [Bluetooth接続するには](#)
- [音楽再生時にできること（Bluetooth接続）](#)
- [ノイズキャンセリング機能を使う](#)

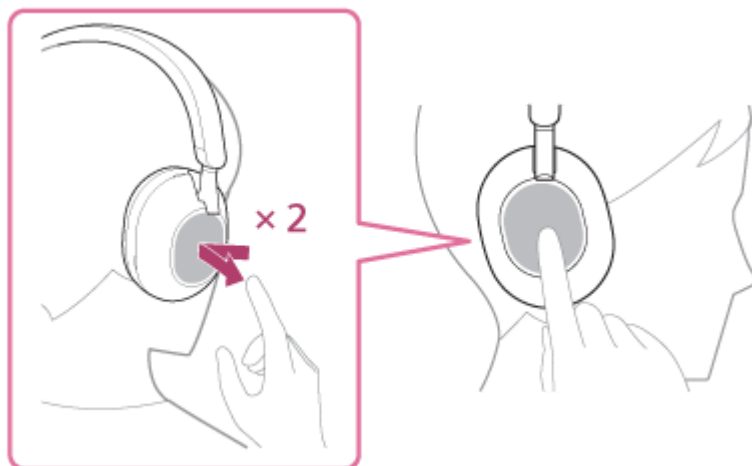
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

音楽再生時にできること（Bluetooth接続）

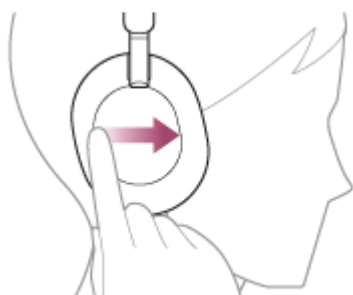
お使いのBluetooth機器が機器操作機能（対応プロファイル：AVRCP）に対応していれば、以下のような操作が可能です。Bluetooth機器によってできる機能は異なりますので、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

タッチセンサーコントロールパネルを使って、以下の操作ができます。

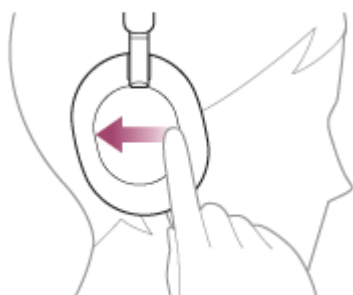
- 再生／一時停止：タッチセンサーコントロールパネルをすばやく（約0.4秒間隔で）2回タップします。



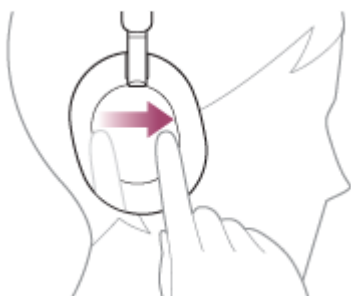
- 次の曲の頭出し：前にすべらせて離します。



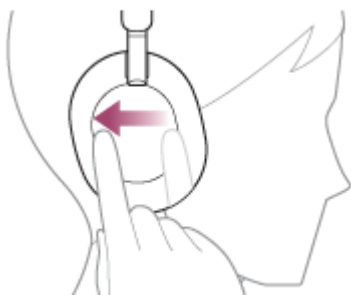
- 前（または再生中）の曲の頭出し：後ろにすべらせて離します。



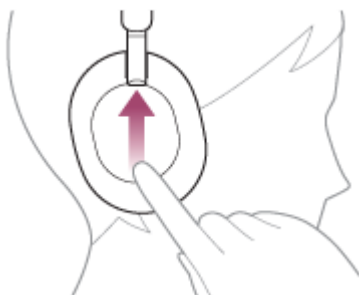
- 早送り：前にすべらせて触れたまま止め（早送りが始まるまでに多少時間がかかります）、再生したい位置に来たら指を離します。



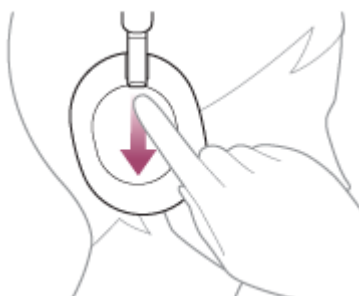
- 早戻し：後ろにすべらせて触れたまま止め（早戻しが始まるまでに多少時間がかかります）、再生したい位置に来たら指を離します。



- 音量を上げる：上にすべらせて離す動作を、好みの音量になるまで繰り返します。



- 音量を下げる：下にすべらせて離す動作を、好みの音量になるまで繰り返します。



- 音量を連続して変える：上または下にすべらせて触れたまま指を止めます。好みの音量になったら指を離します。

ご注意

- 通信状態が悪いと、ヘッドセットの操作に対してBluetooth機器が誤動作する場合があります。
- 接続する機器、使用する音楽ソフトやアプリによってできる機能が異なります。上記の操作をしても異なる動作をしたり、動作しない場合があります。

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）

1 Bluetooth機器を操作してBluetooth接続を切断する。

通知音が鳴ります。

2 ヘッドセットの電源を切る。

通知音が鳴ります。

ヒント

- Bluetooth機器の種類によっては、音楽の再生を終了すると、自動的にBluetooth接続を切断する場合があります。

関連項目

- [ヘッドセットの電源を切る](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

360 Reality Audioについて

360 Reality Audioとは

360 Reality Audioは、ソニーの360立体音響技術を使った新しい音楽体験です。
ボーカルやコーラス、楽器などの音源一つひとつに位置情報をつけ、球状の空間に配置。
アーティストの生演奏に囲まれているかのような、没入感のある立体的な音場を体感できます。

使用条件

iOSやAndroidを搭載したスマートフォンやタブレットに360 Reality Audioに対応した音楽ストリーミングサービス（有料）のアプリをダウンロードしてお使いください。

“Sony | Headphones Connect”アプリにより音場やヘッドセットの音響特性を最適化することで、よりリアルな臨場感を楽しめます。

360 Reality Audioについて詳しくは、下記のサイトをご確認ください。

<https://www.sony.net/360RA/>

ご注意

- 一部の国や地域ではサービスを利用できません。

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

Quick Access（クイックアクセス）を使う

Quick Accessは、ヘッドセットのボタンを押すだけで、対応するアプリでコンテンツを再生することができる機能です。

1 “Sony | Headphones Connect”アプリを起動し、NC/AMBボタンの機能をQuick Accessに変更する。

“Sony | Headphones Connect”アプリを使ってNC/AMBボタンの機能の割り当てを変更できます。

“Sony | Headphones Connect”アプリについて詳しくは、下記URLをご覧ください。

https://rd1.sony.net/help/mdr/hpc/h_zz/

2 NC/AMBボタンを押してQuick Accessを使う。

- ボタンをすばやく2回押す：Quick Access
- ボタンをすばやく3回押す：Quick Access

ヒント

- Quick Accessを使うには、対応するスマートフォンアプリのインストールとインターネット接続が必要です。アプリによってはサインインが必要です。
- 最新のQuick Accessの仕様について詳しくは、“Sony | Headphones Connect”アプリの［サービス］タブをご確認ください。

ご注意

- 国や地域によってQuick Accessに割り当てることができるサービスが異なります。

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

スピーカーと組み合わせてシームレス再生を楽しむ (Auto Switch)

Auto Switch対応ヘッドセットやスピーカーを操作することなく、音の出力先をヘッドセットとスピーカーの間で自動で切り替えてワイヤレス再生を楽しめます。

この機能は、“Sony | Headphones Connect”から“Sony | Sound Connect”にソフトウェア更新をすることで利用可能になります。

Auto Switch対応機器については下記URLをご覧ください。

https://www.sony.net/asw_comp_hp

Auto Switchを使用する前に、以下をご確認ください。

- スマートフォンに“Sony | Sound Connect”アプリをインストールする。
- スピーカーやヘッドセットのソフトウェアを最新バージョンにアップデートする。

1 Auto Switch対応スピーカーを“Sony | Sound Connect”アプリをインストールしたスマートフォンに機器登録 (ペアリング) する。

ペアリング済みの場合は、スピーカーをスマートフォンに接続してください。

2 “Sony | Sound Connect”アプリでスピーカーのBluetoothスタンバイ機能が有効になっていることを確認する。

3 スピーカーの電源を切る。

4 ヘッドセットとスマートフォンを接続し、Auto Switchからの画面の指示に従ってスピーカーとの連携を有効にする。

5 スマートフォンで音楽を再生する。

Auto Switchの設定をした“Sony | Sound Connect”アプリがインストールされているスマートフォンで音楽を再生してください。

ヘッドセットから音楽を再生した状態でヘッドセットの電源を切ると、自動的にスピーカーからの再生に切り替わります。

うまく音が切り替わらないときは、スピーカーとヘッドセットを近づけてみてください。

スピーカーから音楽を再生した状態でヘッドセットの電源を入れて装着すると、自動的にヘッドセットからの再生に切り替わります。

音量を調節するには

再生中のヘッドセットやスピーカーで音量を調節してください。音量を変更しても、再生していないヘッドセットやスピーカーの音量設定は変更されません。

Auto Switchを無効にするときは

“Sony | Sound Connect”アプリから連携を解除します。ヘッドセットまたは連携したスピーカーを初期化した場合も連携が解除されます。

ヒント

- スピーカーとの連携を有効にしたまま音の出力先を自動で切り替えたくない場合は、事前にスマートフォンの音楽再生を一時停止してください。

ご注意

- スマートフォンのハンズフリー機能では、Auto Switchはご使用になれません。

5-035-396-01(6) Copyright 2022 Sony Corporation

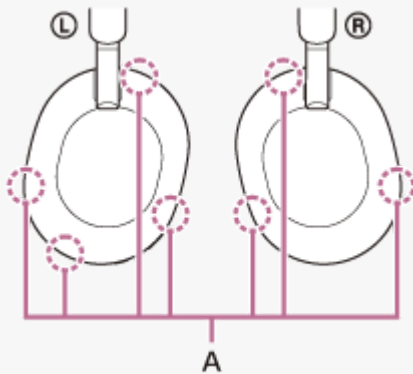
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

ノイズキャンセリング機能とは

ノイズキャンセリング機能とは、外部の環境ノイズ（乗り物内の騒音や室内の空調音など）と逆位相の音を出し、ノイズを打ち消すことで環境ノイズが低減して聞こえる機能です。

ご注意

- オートNCオプティマイザー機能により、装着状態や使用環境などの変化に合わせて自動的にノイズキャンセリング性能を最適化しているため、ノイズキャンセリング効果の変動を感じる場合があります。
- 静かな場所やノイズの種類によっては、ノイズキャンセリング効果が感じられない、またはノイズが大きくなったと感じられる場合があります。
- ヘッドセットを耳に装着しているとき、装着状態によっては、ノイズキャンセリング効果が減少したり、ピーという音（ハウリング）が出たりすることがあります。この場合は、ヘッドセットを耳に装着しなおしてください。
- ノイズキャンセリング機能は、乗り物や空調などの主に低い周波数帯域の騒音に対してもっとも効果を発揮します。すべての音が打ち消されるわけではありません。
- 自動車、バスなどでご使用の場合、路面状況によっては、ノイズが発生することがあります。
- 携帯電話の影響によりノイズが入ることがあります。この場合は、携帯電話からヘッドセットを離してください。
- ヘッドセットの左右のユニットにあるマイク部を手などで覆わないでください。ノイズキャンセリングや外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）の効果が得られなくなったり、ピーという音（ハウリング）が出たりすることがあります。このような場合は、左右のマイク部から手などを離してください。



A: マイク（左、右）

関連項目

- [ノイズキャンセリング機能を使う](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

ノイズキャンセリング機能を使う

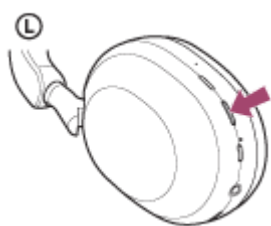
ノイズキャンセリング機能を使うと、周囲の雑音を気にせずに音楽を楽しむことができます。

1 ヘッドセットの電源を入れる。

電源が入ったことを知らせる通知音が鳴ります。

お買い上げ後初めてお使いになるときやヘッドセットを初期化した直後は、電源を入れると自動的にノイズキャンセリング機能がオンになります。2回目以降は、前回の設定が保持されます。

2 NC/AMBボタンを押して、ノイズキャンセリング機能の設定を切り替える。



ボタンを押すたびに機能が次のように切り替わります。

外音取り込み機能「オン」

通知音が鳴ります。



ノイズキャンセリング機能「オン」

通知音が鳴ります。

取扱説明動画について

ノイズキャンセリング機能の使いかたは、動画でご覧いただけます。

<https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0041/ja/>

ヒント

- Bluetooth接続でノイズキャンセリング機能を使用しているときに付属のヘッドホンケーブルをつなぐと、Bluetooth機能はオフになりますが、ノイズキャンセリング機能は続けて使用できます。
- 通常のヘッドホンとして使用する場合は、ヘッドセットの電源を切って、付属のヘッドホンケーブルを使用してください。
- ノイズキャンセリング機能や外音取り込み機能の設定は、“Sony | Headphones Connect”アプリでも変更できます。
- NC/AMBボタンを押したときに切り替わる機能は、“Sony | Headphones Connect”アプリで以下のいずれかに切り替えることができます。
 - ノイズキャンセリング機能「オン」 ➡ 外音取り込み機能「オン」 ➡ ノイズキャンセリング機能「オフ」 / 外音取り込み機能「オフ」
 - ノイズキャンセリング機能「オン」 ➡ 外音取り込み機能「オン」
 - 外音取り込み機能「オン」 ➡ ノイズキャンセリング機能「オフ」 / 外音取り込み機能「オフ」
 - ノイズキャンセリング機能「オン」 ➡ ノイズキャンセリング機能「オフ」 / 外音取り込み機能「オフ」

関連項目

- [音声ガイドスについて](#)
- [ヘッドセットの電源を入れる](#)
- [ノイズキャンセリング機能とは](#)
- [音楽再生中に周囲の音を聞く（外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード））](#)
- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)

5-035-396-01(6) Copyright 2022 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

装着状態や環境に合わせてノイズキャンセリング性能を常に自動で最適化する（オートNC オブティマイザー）

ヘッドセットを装着すると、顔の輪郭や髪型、めがね装用の有無などによるヘッドセットの装着状態や、航空機内などの気圧の変化を解析して、ノイズキャンセリング性能を常に自動で最適な状態にします。
ボタンやタッチセンサーコントロールパネルの操作は不要です。
オートNCオブティマイザー機能により、装着状態や使用環境などの変化に合わせて自動的にノイズキャンセリング性能を最適化しているため、ノイズキャンセリング効果の変動を感じる場合があります。

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

音楽再生中に周囲の音を聞く（外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード））

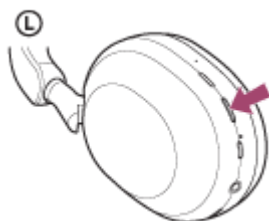
左右のヘッドセットに内蔵されているマイクにより、周囲の音を聞き取りやすくし、周囲の音を確認しながら音楽を楽しむことができます。

1 ヘッドセットの電源を入れる。

電源が入ったことを知らせる通知音が鳴ります。

お買い上げ後初めてお使いになるときやヘッドセットを初期化した直後は、電源を入れると自動的にノイズキャンセリング機能がオンになります。2回目以降は、前回の設定が保持されます。

2 NC/AMBボタンを押して外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）に切り替える。



ボタンを押すたびに機能が次のように切り替わります。

ノイズキャンセリング機能「オン」

通知音が鳴ります。



外音取り込み機能「オン」

通知音が鳴ります。

取扱説明動画について

外音取り込み機能の使いかたは、動画でご覧いただけます。

<https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0041/ja/>

ヒント

- “Sony | Headphones Connect”アプリで変更した外音取り込み機能の設定はヘッドセットに記憶されます。一度設定を変更すれば、“Sony | Headphones Connect”アプリがインストールされていない機器の音楽を聞くときでも、外音取り込み機能をオンにするだけで記憶された設定で聞くことができます。
- NC/AMBボタンを押したときに切り替わる機能は、“Sony | Headphones Connect”アプリで以下のいずれかに切り替えることができます。
 - ノイズキャンセリング機能「オン」 → 外音取り込み機能「オン」 → ノイズキャンセリング機能「オフ」／外音取り込み機能「オフ」
 - ノイズキャンセリング機能「オン」 → 外音取り込み機能「オン」
 - 外音取り込み機能「オン」 → ノイズキャンセリング機能「オフ」／外音取り込み機能「オフ」
 - ノイズキャンセリング機能「オン」 → ノイズキャンセリング機能「オフ」／外音取り込み機能「オフ」

ご注意

- 外音取り込み機能を使用しても、周囲の状況や再生中の音の種類や音量によっては、周囲の音が聞き取れない場合があります。周囲の音が聞こえないと危険な場所（車や自転車の通る道など）では、ヘッドセットを使用しないでください。
- ヘッドセットがしっかりと耳に装着されていないと、外音取り込み機能が正常に動作しない場合があります。ヘッドセットをしっかりと耳に装着してください。

関連項目

- [音声ガイドスについて](#)
- [ノイズキャンセリング機能を使う](#)
- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)

5-035-396-01(6) Copyright 2022 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

すばやく周囲の音を聞きたいときは（クイックアテンションモード）

再生中の音楽や通話音声、着信音の音量を下げて、周囲の音をさらに聞き取りやすくします。電車内のアナウンスなどをすぐに聞きたいときに便利です。

クイックアテンションモードを使用するには

ヘッドセットのタッチセンサーコントロールパネル全体を手で触れてください。クイックアテンションモードは、タッチセンサーコントロールパネルに触れている間だけ動作します。



A : タッチセンサーコントロールパネル



クイックアテンションモードを解除するには

タッチセンサーコントロールパネルから手を離します。

取扱説明動画について

クイックアテンションモードの使いかたは、動画でご覧いただけます。

<https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0042/ja/>

ご注意

- 以下のような場合は正しく動作しないことがあります。
 - － タッチセンサーコントロールパネル全体が覆われていない。



— タッチセンサーコントロールパネルに触れていない。



- クイックアテンションモードを使用しても、周囲の状況や再生中の音の種類や音量によっては、周囲の音が聞き取れない場合があります。周囲の音が聞こえないと危険な場所（車や自転車の通る道など）では、ヘッドセットを使用しないでください。
- ヘッドセットがしっかりと耳に装着されていないと、クイックアテンションモードが正常に動作しない場合があります。ヘッドセットをしっかりと耳に装着してください。

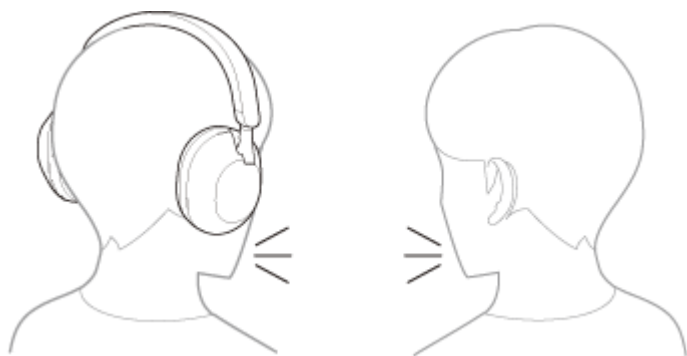
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

ヘッドセットを耳に装着したまま会話をする（スピーク・トゥ・チャット）

事前にスピーク・トゥ・チャットを有効に設定しておくことで、相手に話しかけることで、自動的にスピーク・トゥ・チャットモードが起動します。再生中の音楽は、一時停止または消音し、相手の音声をマイクで取り込み聞きやすくします。

ヘッドセット装着者が発話した音声をヘッドセットが検出しない状態が一定時間続くと、自動的にスピーク・トゥ・チャットモードが終了します。

その前に終了したいときは、ヘッドセットのボタンやタッチセンサーコントロールパネルを操作してください。



スピーク・トゥ・チャットを有効にするには

スピーク・トゥ・チャットモードを起動するには、事前にスピーク・トゥ・チャットを有効にしておく必要があります。

お買い上げ時はスピーク・トゥ・チャットは無効に設定されています。有効にするには、「スピークトゥチャット有効」の音声ガイダンスが流れるまで、タッチセンサーコントロールパネルを2本の指で触れたままにします。



スピーク・トゥ・チャットを無効にするには

「スピークトゥチャット無効」の音声ガイダンスが流れるまで、もう一度2本の指で触れたままにします。

取扱説明動画について

スピーク・トゥ・チャットの使いかたは、動画でご覧いただけます。

<https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0043/ja/>

ヒント

- スピーク・トゥ・チャットの有効／無効がうまく切り替わらないときは、下記のように操作してください。
 - － 2本の指を少し離す



— タッチセンサーコントロールパネルにまっすぐ触れる



— 指の腹でタッチセンサーコントロールパネルに触れる



- “Sony | Headphones Connect”アプリを使用すると、有効／無効の切り替え、音声自動検出の感度変更、スピーク・トゥ・チャットモードが終了するまでの時間変更ができます。お買い上げ時の設定では、終了するまでの時間は約15秒となっています。

ご注意

- スピーク・トゥ・チャットモードは、ヘッドセット装着者の発話を検出して起動しますが、まれに意図せずに歯磨き、電動歯ブラシ、電動マッサージ器、電動シェーバー、咳、鼻歌、他人の声や周囲の環境音、乗り物内のアナウンスなどに反応して起動することがあります。スピーク・トゥ・チャットが起動することが多い場合は、スピーク・トゥ・チャットモードを「低感度」に設定してください。
- 周囲の騒音などにより、ヘッドセット装着者の発話を検出されず、スピーク・トゥ・チャットモードが起動しないことがあります。この場合は、長めに発話したり、声量を大きくしてください。ただし、航空機内など騒音が非常に大きいところでは、長めに話したり、声量を大きくしてもスピーク・トゥ・チャットモードが起動しないことがあります。
- スピーク・トゥ・チャットモード起動時に再生中の音楽が一時停止されるのはBluetooth接続時のみです。
- お使いの接続機器や再生アプリケーションによっては、スピーク・トゥ・チャットモード起動時の再生中の音楽の一時停止やスピーク・トゥ・チャットモード終了時の音楽の再開には対応していません。

関連項目

- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

音質モードについて

Bluetooth再生時の音質モードを次の2通りから選べます。“Sony | Headphones Connect”アプリで、設定を切り替えたり、音質モードを確認したりすることができます。

音質優先：再生音質を優先します（お買い上げ時の設定）。

接続優先：接続の途切れにくさを優先します。

- 再生音質を優先したいときは、音質優先に設定してください。
- 音切れしやすいなど接続が不安定なときは、接続優先に設定してください。

ご注意

- 音質や使用条件などにより、再生時間が短くなる場合があります。
- お使いの環境によっては、接続優先にしても音の途切れが改善されない場合もあります。

関連項目

- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

対応コーデックについて

コーデックとはBluetooth接続で音声を無線伝送する際に使用する「音声圧縮変換方式」のことです。
ヘッドセットが音楽再生の接続（A2DP）時に対応しているコーデックは、SBC、AAC、LDACの3種類です。

- SBC
Subband Codecの略です。
SBCは、Bluetooth機器が標準で使用する音声圧縮技術です。
Bluetooth機器は必ずSBCに対応しています。
- AAC
Advanced Audio Codingの略です。
AACは、主にiPhoneなどのApple製品で使用されており、SBCに比べ高音質です。
- LDAC
LDACは、ソニーが開発したハイレゾ音源をBluetooth通信経由でも伝送可能とする音声圧縮技術です。
SBC等の既存Bluetooth通信向け圧縮技術とは異なり、ハイレゾ音源を低い周波数・低いビット数へダウンコンバートすることなく処理します（*）。
また極めて効率的な符号化やパケット配分の最適化を施すことで、従来技術比約3倍（**）のデータ量の送信を可能とし、これまでにない高音質のBluetooth無線伝送を実現しています。

* DSDフォーマットは除く。

** 990 kbps（96/48 kHz）または909 kbps（88.2/44.1 kHz）のビットレートを選択した場合のSBCとの比較。

接続機器が上記のいずれかのコーデックで音楽を送信してきたとき、自動的にそのコーデックに対応し音楽再生します。

SBCよりも高音質なコーデックに対応している接続機器の場合、対応しているコーデックの中から希望するコーデックで音楽を楽しむために、事前に接続機器側の設定が必要な場合があります。

コーデックの設定については接続機器の取扱説明書をご確認ください。

関連項目

- [音質モードについて](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

DSEE Extremeについて

音楽ファイルの高音域を補完するとともに、サンプリング周波数とビットレートを本来の数値より高めることで、MP3などの高圧縮音源もCD以上の高解像になり、よりクリアな躍動感あるサウンドを楽しめます。さらに、周波数特性の補完には、AI（人工知能）技術を用いることで、高音域の補完性能が向上しました。

“Sony | Headphones Connect”アプリで、設定を切り替えることができます。

再生機器の仕様によっては、圧縮された音源をLDACで伝送するときにDSEE Extremeが無効になる場合があります。

ご注意

- DSEE Extremeを「Auto」に設定していると、使用可能時間が短くなります。

関連項目

- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

電話を受ける

お使いのスマートフォン／携帯電話がBluetoothプロファイルのHFP（Hands-free Profile）またはHSP（Headset Profile）に対応していれば、ヘッドセットとBluetooth接続してハンズフリー通話ができます。

- スマートフォン／携帯電話がHFPとHSPの両方に対応している場合は、HFPを使用してください。
- 操作はスマートフォン／携帯電話によって異なることがあります。お使いのスマートフォン／携帯電話の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- お使いの接続機器やアプリケーションによっては、ヘッドセットの操作で機能が正しく動作しない場合があります。

着信音について

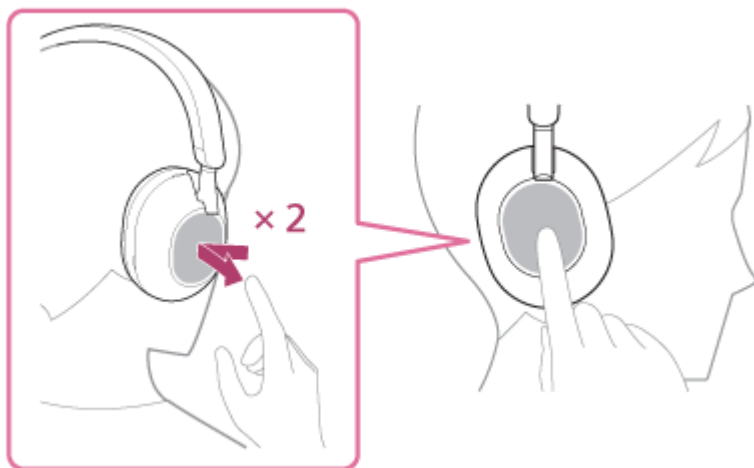
着信すると、ヘッドセットから着信音が聞こえ、ランプ（青）が速く点滅します。

ヘッドセットから聞こえる着信音は、スマートフォン／携帯電話によって以下のいずれかとなります。

- ヘッドセットの着信音
- スマートフォン／携帯電話の着信音
- スマートフォン／携帯電話のBluetooth接続専用の着信音

- 1 あらかじめヘッドセットとスマートフォン／携帯電話をBluetooth接続しておく。
- 2 着信したら、タッチセンサーコントロールパネルをすばやく（約0.4秒間隔で）2回タップして電話を受ける。

音楽再生中に着信すると、音楽が一時停止し、着信音が聞こえます。



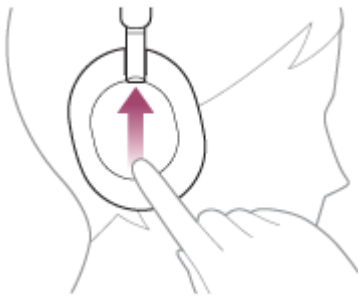
ヘッドセットには全指向性マイクを搭載しています。マイクの位置を意識せずに通話ができます。

ヘッドセットから着信音が聞こえない場合は

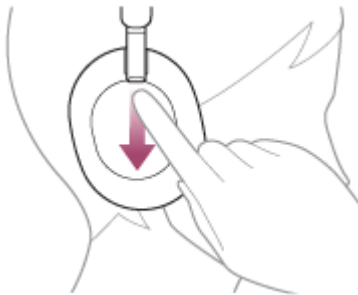
- HFPまたはHSPで接続されていない可能性があります。スマートフォン／携帯電話側の接続状況を確認してください。
- 再生中の音楽が自動的に一時停止しない場合は、手動で一時停止してください。

- 3 タッチセンサーコントロールパネルを操作して、音量を調節する。

- 音量を上げる：上にすべらせて離す動作を、お好みの音量になるまで繰り返します。



- 音量を下げる：下にすべらせて離す動作を、好みの音量になるまで繰り返します。



- 音量を連続して変える：上または下にすべらせて触れたまま指を止めます。好みの音量になったら指を離します。

音量が最大または最小になると、警告音が鳴ります。

4 通話が終了したら、タッチセンサーコントロールパネルをすばやく（約0.4秒間隔で）2回タップして電話を切る。

音楽再生中に着信したときは、電話を切ると再生を再開します。

ヒント

- スマートフォン／携帯電話を操作して電話を受けた場合、機種によっては、スマートフォン／携帯電話での通話が優先されることがあります。HFPまたはHSP接続の場合、ヘッドセットのタッチセンサーコントロールパネル部分を音声切り替わるまで触れたままにするか、スマートフォン／携帯電話を操作して、通話をヘッドセットに切り替えてください。
- 通話の音量は、待ち受け中には調節できません。
- ヘッドセットは、通話するときの音量と音楽を聞くときの音量を、それぞれ調節することができます。音楽再生中に音量を変えても、通話時の音量は変わりません。

ご注意

- お使いの接続機器や再生アプリケーションによっては、音楽再生中に着信した通話を終了しても、自動的に再生を再開しないことがあります。
- スマートフォン／携帯電話は、ヘッドセットから50 cm以上離してお使いください。ヘッドセットとスマートフォン／携帯電話が近いとノイズが入ることがあります。
- 通話時にヘッドセットの左右のマイクが作動して、ヘッドセットから自分の声が聞こえます（サイドトーン機能）。このとき、ヘッドセットから周囲の音やヘッドセットの操作音が聞こえますが故障ではありません。

関連項目

- [Bluetooth接続するには](#)
- [電話をかける](#)
- [通話時にできること](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

電話をかける

お使いのスマートフォン／携帯電話がBluetoothプロファイルのHFP（Hands-free Profile）またはHSP（Headset Profile）に対応していれば、ヘッドセットとBluetooth接続してハンズフリー通話ができます。

- スマートフォン／携帯電話がHFPとHSPの両方に対応している場合は、HFPを使用してください。
- 操作はスマートフォン／携帯電話によって異なることがあります。お使いのスマートフォン／携帯電話の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- お使いの接続機器やアプリケーションによっては、ヘッドセットの操作で機能が正しく動作しない場合があります。

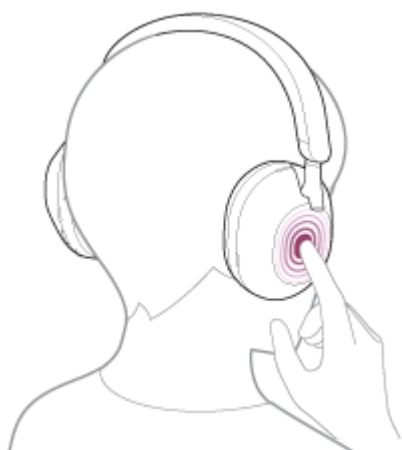
1 ヘッドセットとスマートフォン／携帯電話をBluetooth接続する。

2 お使いのスマートフォン／携帯電話を操作して発信する。

発信すると、ヘッドセットから発信音が聞こえます。

音楽再生中に発信すると、音楽が一時停止します。

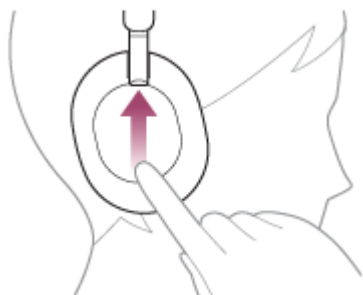
ヘッドセットから発信音が聞こえない場合は、スマートフォンや携帯電話を操作してヘッドセットに音声を切り替えるか、音声が切り替わるまでタッチセンサーコントロールパネルに触れたままにしてください。



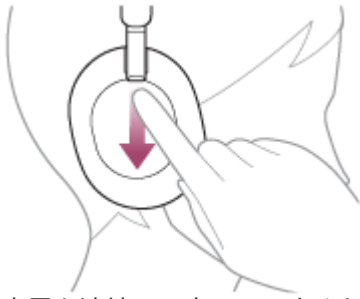
ヘッドセットには全指向性マイクを搭載しています。マイクの位置を意識せずに通話ができます。

3 タッチセンサーコントロールパネルを操作して、音量を調節する。

- 音量を上げる：上にすべらせて離す動作を、好みの音量になるまで繰り返します。



- 音量を下げる：下にすべらせて離す動作を、好みの音量になるまで繰り返します。



- 音量を連続して変える：上または下にすべらせて触れたまま指を止めます。好みの音量になったら指を離します。

音量が最大または最小になると、警告音が鳴ります。

4 通話が終了したら、タッチセンサーコントロールパネルをすばやく（約0.4秒間隔で）2回タップして電話を切る。

音楽再生中に発信したときは、電話を切ると再生を再開します。

ヒント

- 通話の音量は、待ち受け中には調節できません。
- ヘッドセットは、通話するときの音量と音楽を聞くときの音量を、それぞれ調節することができます。音楽再生中に音量を変えても、通話時の音量は変わりません。

ご注意

- お使いの接続機器や再生アプリケーションによっては、音楽再生中に発信した通話を終了しても、自動的に再生を再開しないことがあります。
- スマートフォン／携帯電話は、ヘッドセットから50 cm以上離してお使いください。ヘッドセットとスマートフォン／携帯電話が近いとノイズが入ることがあります。
- 通話時にヘッドセットの左右のマイクが作動して、ヘッドセットから自分の声が聞こえます（サイドトーン機能）。このとき、ヘッドセットから周囲の音やヘッドセットの操作音が聞こえますが故障ではありません。

関連項目

- [Bluetooth接続するには](#)
- [電話を受ける](#)
- [通話時にできること](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

通話時にできること

通話時にできることは、お使いのスマートフォン／携帯電話が対応しているプロファイルによって異なります。また、プロファイルが同じでも、スマートフォン／携帯電話によってできる機能が異なります。

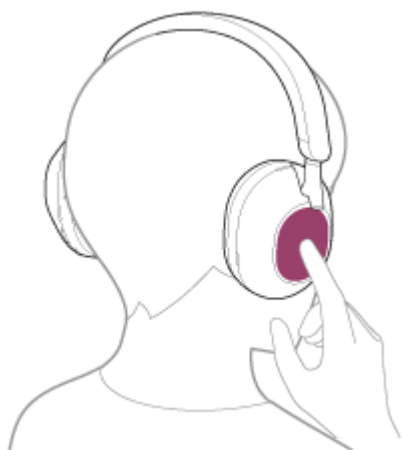
お使いの接続機器やアプリケーションによっては、タッチセンサーコントロールパネルの操作で機能が正しく動作しない場合があります。

お使いのスマートフォン／携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

スマートフォン／携帯電話がHFP（Hands-free Profile）対応のとき

待ち受け中／音楽再生中

- タッチセンサーコントロールパネルに約1秒間触れたままにすると、スマートフォン／携帯電話のボイスダイヤル機能や、Android搭載スマートフォンのGoogleアプリ、iPhoneのSiriを起動します。



発信中

- タッチセンサーコントロールパネルをすばやく（約0.4秒間隔で）2回タップすると、発信を中断します。
- タッチセンサーコントロールパネルに触れたままにすると、通話機器をヘッドセット⇄スマートフォン／携帯電話で切り替えます。

着信中

- タッチセンサーコントロールパネルをすばやく2回タップすると、電話を受けます。
- タッチセンサーコントロールパネルに触れたままにすると、着信を拒否します。

通話中

- タッチセンサーコントロールパネルをすばやく2回タップすると、通話を終了します。
- タッチセンサーコントロールパネルに触れたままにすると、通話機器をヘッドセット⇄スマートフォン／携帯電話で切り替えます。

スマートフォン／携帯電話がHSP（Headset Profile）対応のとき

発信中

- タッチセンサーコントロールパネルをすばやく2回タップすると、発信を中断します。

着信中

- タッチセンサーコントロールパネルをすばやく2回タップすると、電話を受けます。

通話中

- タッチセンサーコントロールパネルをすばやく2回タップすると、通話を終了します。

関連項目

- [電話を受ける](#)
- [電話をかける](#)

5-035-396-01(6) Copyright 2022 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

パソコンでビデオ通話する

パソコンでビデオ通話するときに、ヘッドセットからワイヤレスで通話することができます。

1 ヘッドセットとパソコンをBluetooth接続する。

2 パソコンのビデオ通話用アプリを起動する。

3 ビデオ通話用アプリの設定(*)を確認する。

- パソコンでビデオ通話するときは、音楽再生の接続(A2DP)ではなく、通話の接続(HFP/HSP)を選びます。音楽再生の接続を選ぶと、通話できない場合があります。
- スピーカーの設定で、通話の接続[ヘッドセット(WH-1000XM5 Hands-Free)](**)を選択します。
([ヘッドホン(WH-1000XM5 Stereo)](**)は音楽再生の接続です。)
- マイクの設定で、通話の接続[ヘッドセット(WH-1000XM5 Hands-Free)](**)を選択します。
マイクが設定されていない場合、ヘッドセット装着者が発話した音声をヘッドセットが検出してスピーク・トゥ・チャットモードが起動し、ヘッドセットからの音声が消音されます。
- お使いのビデオ通話用アプリによっては、スピーカーの設定やマイクの設定で、通話の接続[ヘッドセット(WH-1000XM5 Hands-Free)](**)や音楽再生の接続[ヘッドホン(WH-1000XM5 Stereo)](**)を選択できず、[WH-1000XM5]のみ表示される場合があります。その場合は、[WH-1000XM5]を選択してください。
- その他、よくあるお問い合せとその回答をサポートホームページでご案内していますので、ご参照ください。

* お使いのビデオ通話用アプリによっては、機能がいない場合があります。

** 名称はお使いのパソコンやビデオ通話用アプリによって異なります。

ヒント

- ビデオ通話用アプリの設定が確認できない場合や、通話の接続[ヘッドセット(WH-1000XM5 Hands-Free)]を選択できない場合は、パソコンの設定から[ヘッドセット(WH-1000XM5 Hands-Free)]を選択し、接続してください。「[機器登録\(ペアリング\) 済みのパソコンと接続する\(Windows 10\)](#)」、「[機器登録\(ペアリング\) 済みのパソコンと接続する\(Windows 8.1\)](#)」、「[機器登録\(ペアリング\) 済みのパソコンと接続する\(Mac\)](#)」をご参照ください。

ご注意

- スピーク・トゥ・チャット機能が有効になっている場合、マイクの設定を正しく選択していない場合は、発話によってスピーク・トゥ・チャットモードが起動し、ヘッドセットからの音声が消音されることがあります。
- お使いのビデオ通話用アプリによっては、マイクの設定ができない場合があります。その場合は、スピーク・トゥ・チャットを無効にしてください。無効にするには、「スピークトゥチャット無効」の音声ガイダンスが流れるまで、タッチセンサーコントロールパネルを2本の指で触れたままにします。
- お使いのパソコンやアプリケーションによって、ビデオ通話中にヘッドセットが正しく動作しない場合があります。また、パソコンを再起動すると症状が改善する場合があります。

関連項目

- [Bluetooth接続するには](#)
- [パソコンを機器登録\(ペアリング\)してから接続する\(Windows® 10\)](#)

- パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows 8.1）
- パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Mac）
- 機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 10）
- 機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 8.1）
- 機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Mac）
- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）
- サポートホームページで調べる

5-035-396-01(6) Copyright 2022 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）

1 Bluetooth機器を操作してBluetooth接続を切断する。

通知音が鳴ります。

2 ヘッドセットの電源を切る。

通知音が鳴ります。

ヒント

- Bluetooth機器の種類によっては、音楽の再生を終了すると、自動的にBluetooth接続を切断する場合があります。

関連項目

- [ヘッドセットの電源を切る](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

Google アシスタントを使う

スマートフォンに搭載されているGoogle アシスタントを起動して、ヘッドセットの左右のマイクから、声でスマートフォンを操作したり、調べものをしたりすることができます。

対応するスマートフォン

- Android 6.0以降（Googleアプリが最新版にアップデートされている必要があります）

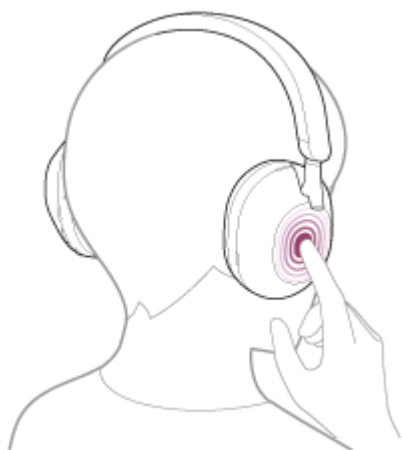
1 “Sony | Headphones Connect”アプリを起動し、タッチセンサーコントロールパネルの機能をGoogle アシスタントに変更する。

初回接続時は、Google アシスタントを起動して会話画面で「ヘッドフォンの設定を完了」をタッチし、スマートフォン画面の指示に従ってGoogle アシスタントの初期設定を完了してください。

“Sony | Headphones Connect”アプリについて詳しくは、下記URLをご覧ください。

https://rd1.sony.net/help/mdr/hpc/h_zz/

2 「Ok Google」などと呼びかける、もしくはタッチセンサーコントロールパネルを操作して、Google アシスタントを使う。



- タッチセンサーコントロールパネルに触れたままにすると音声入力が始まり、指を離すと音声入力を終了します。
- タッチセンサーコントロールパネルに触れている間に音声入力の確認されない場合、指を離すと通知を読み上げます。

Google アシスタントの詳しい操作については、以下のホームページをご覧ください。

https://assistant.google.com/intl/ja_jp/

Google アシスタントでヘッドセットの操作をする

Google アシスタントで特定のワードを呼びかけることで、ノイズキャンセリングの設定などのヘッドセットの操作を行うことができます。

詳細については、以下のホームページ（*）をご覧ください。

<https://support.google.com/assistant/answer/7172842#headphones>

* ホームページで案内されているすべての仕様に対応しているわけではありません。

- ヘッドセットのソフトウェアバージョンの確認とアップデートは、“Sony | Headphones Connect”アプリで行ってください。
- ネットワークに接続されていないなどの理由でGoogle アシスタントが使用できないときは、音声ガイダンス「Google アシスタントが接続されていません」が流れます。
- Google アシスタントの会話画面で「ヘッドフォンの設定を完了」が表示されていないときは、スマートフォンのBluetooth設定からヘッドセットの機器登録（ペアリング）情報を削除して、もう一度ペアリングを行ってください。
- タッチセンサーコントロールパネルには、音声アシスタントを割り当てないこともできます。

ご注意

- タッチセンサーコントロールパネルの機能をGoogle アシスタントに変更すると、音声アシスト機能（Googleアプリ）は使用できなくなります。
- タッチセンサーコントロールパネルの機能をGoogle アシスタントに変更すると、音声アシスト機能（Siri）は使用できなくなります。
- タッチセンサーコントロールパネルの機能をGoogle アシスタントに変更すると、ヘッドセットからはAmazon Alexaは使用できなくなります。
- Google アシスタントは、一部の国や地域、言語では使用できません。
- Google アシスタントでヘッドセットの操作をする機能は、Google アシスタントの仕様によります。
- Google アシスタントの仕様は予告なく変更になる場合があります。

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

Amazon Alexaを使う

スマートフォンにインストールされているAmazon Alexaアプリを起動して、ヘッドセットの左右のマイクから、声でスマートフォンを操作したり、調べものをしたりすることができます。

対応するスマートフォン

- AndroidまたはiOSでAmazon Alexaアプリ最新版が対応しているOSバージョン
- Amazon Alexaアプリ最新版がインストールされている必要があります。

1. モバイルデバイスでアプリストアを開く。
2. Amazon Alexaアプリを検索する。
3. インストールを選ぶ。
4. 開くを選ぶ。

1 ヘッドセットの電源を入れ、スマートフォンとBluetooth接続する。

2 Amazon Alexaアプリを起動する。

初めてAmazon Alexaを使うときは、Amazonアカウントでログインして手順 3 に進み、Amazon Alexaアプリにヘッドセットを登録します。

3 Amazon Alexaの初期設定をする。

1. Amazon Alexaアプリ画面の右下にある「その他」アイコンをタッチし、「デバイスを追加」をタッチする。



2. 「セットアップするデバイスを選択」画面で「ヘッドホン」を選ぶ。



3. 「デバイスを選択」画面の「検出されたデバイス」から「WH-1000XM5」を選ぶ。



4. [Alexaを設定するデバイス : WH-1000XM5] 画面で [次へ] をタッチする。



5. [このアクセサリでの現在の音声アシスタント設定が無効になります] という画面が表示された場合は [次へ] をタッチする。

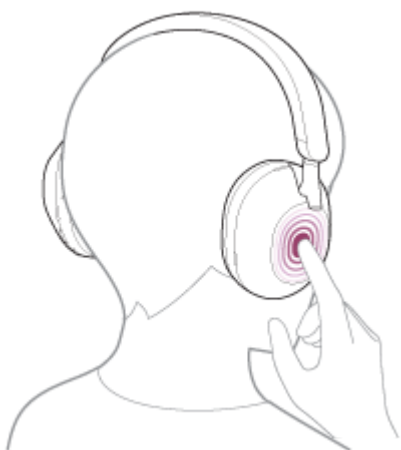


6. [セットアップ完了] 画面が表示されたら [完了] をタッチする。



初期設定が完了すると、ヘッドセットのタッチセンサーコントロールパネルの機能がAmazon Alexaに変わります。

- 4 ウェイクワード(*) (「アレクサ」) で呼びかける、もしくはタッチセンサーコントロールパネルを操作してAmazon Alexaを使う。



- タッチセンサーコントロールパネルに触れたままにすると音声入力が始まります。
- 音声入力しないと自動的にキャンセルされます。

* ウェイクワードの設定には、“Sony | Headphones Connect”アプリで「音声アシスタントを声で起動」を有効にしてください。

Amazon Alexaでできることについては、以下のホームページをご覧ください。

<https://www.amazon.com/b?node=16067214011>

ヒント

- ヘッドセットのソフトウェアバージョンの確認とアップデートは、“Sony | Headphones Connect”アプリで行ってください。
- ネットワークに接続していないなどの理由でAmazon Alexaが使用できないときは、音声ガイダンス「モバイルデバイスが接続されていないか、Alexaアプリを起動して再度お試しください」が流れます。
- Amazon Alexaアプリでヘッドセットを登録すると、タッチセンサーコントロールパネルの機能がAmazon Alexaに設定されます。タッチセンサーコントロールパネルの機能を変更する場合は、“Sony | Headphones Connect”アプリで変更してください。
以前Amazon Alexaに接続したことがあって、タッチセンサーコントロールパネルに他の機能が設定されている場合でも、同様にAmazon Alexaの機能に設定しなおすことができます。
- タッチセンサーコントロールパネルには、音声アシスタントを割り当てないこともできます。

ご注意

- タッチセンサーコントロールパネルの機能をAmazon Alexaに変更すると、音声アシスト機能（Googleアプリ）は使用できなくなります。
- タッチセンサーコントロールパネルの機能をAmazon Alexaに変更すると、音声アシスト機能（Siri）は使用できなくなります。
- タッチセンサーコントロールパネルの機能をAmazon Alexaに変更すると、ヘッドセットからはGoogle アシスタントは使用できなくなります。
- Amazon Alexaは、一部の国や地域、言語では使用できません。Alexaの機能はお使いの場所によって異なる場合があります。

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

音声アシスト機能（Googleアプリ）を使う

Android搭載スマートフォンに搭載されているGoogleアプリを起動して、ヘッドセットの左右のマイクから、声でAndroid搭載スマートフォンを操作できます。

1 アシストと音声入力の選択をGoogleアプリに設定する。

Android搭載スマートフォンで[設定] - [アプリと通知] - [詳細設定] - [標準のアプリ] - [アシストと音声入力]を選び、[アシストアプリ]をGoogleアプリに設定します。

上記の操作は一例です。詳しくは、Android搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

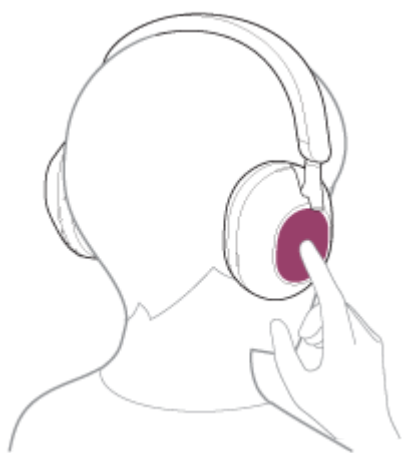
注：最新版のGoogleアプリが必要なことがあります。

Googleアプリについて詳しくは、Android搭載スマートフォンの取扱説明書やサポートページまたはGoogle Playストアのウェブページをご覧ください。

Android搭載スマートフォンの仕様により、ヘッドセットからのGoogleアプリの起動に対応しない場合があります。

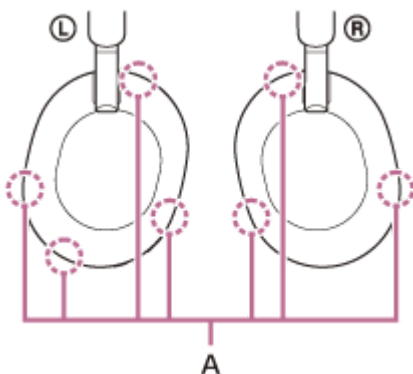
2 ヘッドセットをAndroid搭載スマートフォンにBluetooth接続する。

3 Android搭載スマートフォンが待ち受け中や音楽再生中に、ヘッドセットのタッチセンサーコントロールパネルに約1秒以上触れたままにする。



Googleアプリが起動します。

4 ヘッドセットを耳に装着した状態で、Googleアプリに頼みごとをする。



A: マイク（左、右）

Googleアプリと連携しているアプリなどについて詳しくは、Android搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

Googleアプリを起動した後、頼みごとをしないで一定時間たつと、音声入力が解除されます。

ご注意

- タッチセンサーコントロールパネルの機能をGoogle アシスタントに設定している場合は、音声アシスト機能（Googleアプリ）は使用できません。
- タッチセンサーコントロールパネルの機能をAmazon Alexaに設定している場合は、音声アシスト機能（Googleアプリ）は使用できません。
- Android搭載スマートフォンで“Ok Google”を有効にしても、“Ok Google”の音声でGoogleアプリを起動することはできません。
- 音声アシスト機能を使用する際に、ヘッドセットの左右のマイクが作動して、ヘッドセットから自分の声が聞こえます（サイドトーン機能）。このとき、ヘッドセットから周囲の音やヘッドセットの操作音が聞こえますが故障ではありません。
- スマートフォンの仕様やアプリのバージョンによりGoogleアプリが起動しない場合があります。
- 音声アシスト機能に対応していない機器と接続した場合、Googleアプリは動作しません。

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

音声アシスト機能（Siri）を使う

iPhoneに搭載されているSiriを起動して、ヘッドセットの左右のマイクから、声でiPhoneを操作できます。

1 Siriを有効にする。

iPhoneで「設定」 - 「Siriと検索」の順に選び、「ホームボタンを押してSiriを使用」と「ロック中にSiriを許可」をオンにします。

上記の操作は一例です。詳しくは、iPhoneの取扱説明書をご覧ください。

注：Siriについて詳しくは、iPhoneの取扱説明書やサポートページをご覧ください。

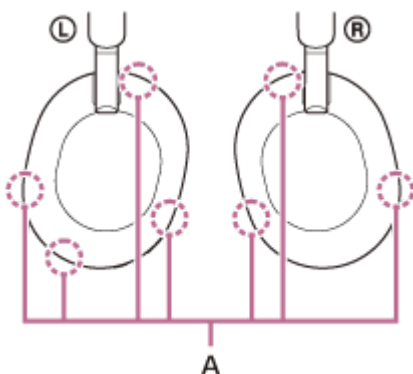
2 ヘッドセットをiPhoneにBluetooth接続する。

3 iPhoneが待ち受け中や音楽再生中に、ヘッドセットのタッチセンサーコントロールパネルに約1秒以上触れたままにする。



Siriが起動します。

4 ヘッドセットを耳に装着した状態で、Siriに頼みごとをする。



A：マイク（左、右）

Siriと連携しているアプリなどについて詳しくは、iPhoneの取扱説明書をご覧ください。

Siriを起動した後、頼みごとをしないで一定時間がたつと、Siriが解除されます。

ご注意

- タッチセンサーコントロールパネルの機能をGoogle アシスタントに設定している場合は、Siriは使用できません。
- タッチセンサーコントロールパネルの機能をAmazon Alexaに設定している場合は、Siriは使用できません。
- iPhoneで“Hey Siri”を有効にしても、“Hey Siri”の音声でSiriを起動することはできません。
- 音声アシスト機能を使用する際に、ヘッドセットの左右のマイクが作動して、ヘッドセットから自分の声が聞こえます（サイドトーン機能）。このとき、ヘッドセットから周囲の音やヘッドセットの操作音が聞こえますが故障ではありません。
- スマートフォンの仕様やアプリのバージョンによりSiriが起動しない場合があります。

5-035-396-01(6) Copyright 2022 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

“Sony | Headphones Connect”アプリでできること

“Sony | Headphones Connect”アプリをインストールしたスマートフォンとヘッドセットをBluetooth接続すると、以下のことができます。

- ヘッドセットのソフトウェアアップデート
- 音声ガイダンスの言語変更
- 音声ガイダンスのオン/オフ切り替え
- 音声認識機能の設定
- Amazon Alexaのウェイクワードのオン/オフ切り替え
- Quick Access設定
- タッチセンサーコントロールパネルのオン/オフ切り替え
- Bluetooth接続モード設定（音質モード）
- ヘッドセットの電源オフ
- 装着検出による自動電源オフ機能の設定
- 装着検出による自動音楽再生停止/再生再開機能の設定
- ヘッドセットの接続状態と設定の確認
- マルチポイント接続（2台の機器と同時に接続）のオン/オフ切り替え
- マルチポイント接続中の機器変更
- ヘッドセットの初期化
- サービスとの連携のオン/オフ切り替え
- ヘッドセットのソフトウェアバージョンの確認
- Bluetooth接続コーデックの表示
- イコライザー設定
- イコライザー設定のカスタム設定
- DSEE Extreme（高音域補完）設定
- ヘッドセットの充電式電池の残量表示
- ノイズキャンセリング機能と外音取り込み機能のモード調整（外音コントロール）
- ヘッドセットからノイズキャンセリング機能/外音取り込み機能を切り替える際の切り替えパターン設定
- 行動検出によるノイズキャンセリング機能の自動調整（アダプティブサウンドコントロール）
- スピーク・トゥ・チャット音声自動検出 有効/無効の切り替えと設定
- 音楽再生時/通話時の音量調節
- 音楽の再生/一時停止、前（または再生中）の曲の頭出し/次の曲の頭出し
- かんたん機器登録（ペアリング）
- セーフリスニングのオン/オフ切り替え
- 360 Reality Audio設定
- Auto Play設定
- スピーカーとのシームレス再生（Auto Switch）*

* この機能は、“Sony | Headphones Connect”から“Sony | Sound Connect”にソフトウェア更新をすることで利用可能になります。

“Sony | Headphones Connect”アプリについて詳しくは、下記URLをご覧ください。

https://rd1.sony.net/help/mdr/hpc/h_zz/

ヒント

- オーディオ機器によって“Sony | Headphones Connect”アプリでできる操作は異なります。アプリの仕様および画面デザインは予告なく変更する場合があります。

- “Sony | Headphones Connect”アプリをインストールする
- 充電式電池の残量を確認する
- ノイズキャンセリング機能を使う
- 装着状態や環境に合わせてノイズキャンセリング性能を常に自動で最適化する（オートNCオプティマイザー）
- 音楽再生中に周囲の音を聞く（外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード））
- 音質モードについて
- 対応コーデックについて
- DSEE Extremeについて
- 2台の機器と同時に接続する（マルチポイント接続）
- スピーカーと組み合わせてシームレス再生を楽しむ（Auto Switch）

5-035-396-01(6) Copyright 2022 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

“Sony | Headphones Connect”アプリをインストールする

- 1 Google PlayストアまたはApp Storeから“Sony | Headphones Connect”アプリをダウンロードしてスマートフォンにインストールする。

“Sony | Headphones Connect”アプリについて詳しくは、下記URLをご覧ください。

https://rd1.sony.net/help/mdr/hpc/h_zz/



Sony Headphones Connect



- 2 インストールが終了したら“Sony | Headphones Connect”アプリを起動する。

関連項目

- “Sony | Headphones Connect”アプリでできること

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

“Sony | Headphones Connect”アプリからサポート情報を見る

“Sony | Headphones Connect”アプリから最新のサポート情報を見ることができます。

- 1 “Sony | Headphones Connect”アプリ画面から【ヘルプ】を選択する。
- 2 【Headphones Connect ヘルプ】画面が開き、サポート情報が表示される。
- 3 参照したい項目を選択する。

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

ソフトウェアを最新の状態に保つ方法（快適にご使用いただくために）

お使いのヘッドセットに最新のソフトウェアがある場合、“Sony | Headphones Connect”アプリの画面上に通知が表示されます。画面の指示に従ってアップデートを行ってください。

最新のソフトウェアをインストールすることで、新しい機能を楽しむことができたり、いくつかの問題が解決することがあります。

常にソフトウェアを最新の状態にしてお使いください。

ヘッドセットの最新のソフトウェアおよびアップデートの方法については、サポートページ内のお知らせなどをご確認ください。

“Sony | Headphones Connect”アプリで［ソフトウェアの自動ダウンロード］設定を有効にしている場合（お買い上げ時の設定）、自動的にソフトウェアのダウンロードと転送が開始されます。

以下の方法でも、ヘッドセットのソフトウェアアップデートを行うことができます。

- 1 “Sony | Headphones Connect”アプリをインストールしたスマートフォンに、サーバーからアップデート用ソフトウェアをダウンロードする。
- 2 スマートフォンからヘッドセットへアップデート用ソフトウェアを転送する。
- 3 画面の表示に従ってアップデートを行う。

ご注意

- ヘッドセットの自動電源オフ機能を無効に変更してからアップデートをすることをおすすめします。
お買い上げ時の設定では、ヘッドセットをBluetooth接続していない状態が15分続くと自動的に電源が切れます。“Sony | Headphones Connect”アプリを使うと、この設定を変更できます。
- アップデートで使用しているモバイルデバイスに他のBluetooth機器が接続されている場合、アップデートが完了するまで、すべてのBluetooth機器の電源を切ってください。
モバイルデバイスにBluetooth Low Energyに対応した機器（ウェアラブル端末・スマートウォッチなど）が接続されているとアップデートができない場合があります。
- ヘッドセットのアップデートが完了できない場合、以下の点を注意してください。
 - － モバイルデバイスにある、“Sony | Headphones Connect”アプリ以外のアプリをすべて終了する。
 - － ヘッドセットとモバイルデバイスを十分に充電する。
 - － ヘッドセットとアップデートで使用するモバイルデバイスをできるだけ近づけてアップデートを行う。
 - － 周辺の無線LAN機器やBluetooth機器などの近くでアップデートを行わない。
 - － アップデートはスマートフォンの省電力モード（*）をオフにして行う。
お使いのスマートフォンのOSバージョンによって、省電力モードではアップデートが完了しない場合があります。

* 名称はお使いのスマートフォンによって異なります。

関連項目

- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

サービスとの連携でできること

“Sony | Headphones Connect”アプリで設定すると、下記アプリ(*)をヘッドセットと連携してお使いいただけます。



* 2023年6月27日時点で連携できるサービスが記載されています。

最新のサービスおよび連携してできる体験について詳しくは、“Sony | Headphones Connect”アプリの[サービス]タブをご確認ください。

1 “Sony | Headphones Connect”アプリを起動する。

2 [サービス]タブから各サービスの設定をする。



ご注意

- 連携できるサービスは、国や地域ごとに異なります。
- 連携できるサービスの仕様は、予告なく変更になる場合があります。
- 別途対応するアプリをインストールする必要があります。
- Endelについて詳しくは、下記URLをご覧ください。
<https://endel.io/>
- サービスとの連携について詳しくは、下記URLをご覧ください。
<https://www.sony.jp/headphone/special/partner-services/>

関連項目

- [“Sony | Headphones Connect”アプリをインストールする](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

使用上のご注意

Bluetooth通信について

- Bluetooth無線技術ではおよそ10 m程度までの距離で通信できますが、障害物（人体、金属、壁など）や電波状態によって通信有効範囲は変動します。
- Bluetooth機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所ではヘッドセットおよびBluetooth機器の電源を切ってください。
 - － 病院内／電車内の優先席付近／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所／自動ドアや火災報知機の近く
- ヘッドセットを航空機内で使用する場合は、客室乗務員の指示に従ってください。電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。
- 無線技術の特性により送信側での音声・音楽再生に比べてヘッドセット側での再生が遅れるため、動画視聴時やゲームでご利用の場合、映像と音声がずれる場合があります。
- ヘッドセットは、Bluetooth無線技術を使用した通信時のセキュリティーとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティー機能に対応していますが、設定内容などによってセキュリティーが充分でない場合があります。Bluetooth通信を行う際はご注意ください。
- Bluetooth通信時に情報の漏洩が発生しましても、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ヘッドセットはすべてのBluetooth機器とのBluetooth接続を保証するものではありません。
 - － 接続するBluetooth機器は、Bluetooth SIG, Inc.の定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
 - － 接続する機器が上記Bluetooth標準規格に適合していても、機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
 - － ハンズフリー通話中、接続機器や通信環境により、雑音が入ることがあります。
- 接続する機器によっては、通信ができるようになるまで時間がかかることがあります。

静電気に関するご注意

- 空気が乾燥する時期にヘッドセットを使用すると、耳にピリピリと痛みを感じることがありますが、これはヘッドセットの故障ではなく人体に蓄積される静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身につけていただくことにより影響が軽減されます。

装着に関するご注意

- ヘッドセットは密閉度を高めていますので、強く押された場合や急に耳から外した場合、鼓膜などを痛める危険があります。また、ヘッドセットを装着したときに、振動板から音が生じる場合がありますが、故障ではありません。

その他のご注意

- ヘッドセットは精密機器のため落としたりぶつけたりなどの強いショックを与えないでください。
- タッチセンサーコントロールパネルにステッカーなどを貼ると、正しく動作しないことがあります。
- 有線接続時は必ず付属のヘッドホンケーブルを使用してプラグをしっかりと挿してください。
- 携帯電話でご利用の際、電波状況、場所の影響により、ご利用できない場合があります。
- ドライバーユニットに息を吹きかけないでください。
- ヘッドセットは力を加えたまま長時間放置すると、変形するおそれがあります。保管するときは、力を加えないようにしてください。
- ヘッドセットを使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください。
- イヤーパッドは長期の使用・保存により破損したり劣化するおそれがあります。
- ヘッドセットは防水仕様ではありません。水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

お手入れのしかた

- ヘッドセットの外装の汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤溶液でしめらせた布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためたり、破損につながるため使わないでください。

ヘッドセット（付属品を含む）を医療機器の近くで使わない

- 電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。満員電車などの混雑した場所や医療機関の屋内では使わないでください。
- ヘッドセット（付属品を含む）は磁石を使用しているため、ペースメーカー、水頭症治療用圧可変式シャントなどの医療機器に影響を与えるおそれがあります。ヘッドセットをこれらの医療機器をご使用の方に近づけないでください。これらの医療機器を使用されている場合、ヘッドセットのご使用前に担当医師にご相談ください。

ヘッドセット（付属品を含む）を磁気カードに近づけない

- ヘッドセット（付属品を含む）は磁石を使用しています。磁気を利用したカード類を近づけると、カードの磁気に変化して使えなくなることがあります。

関連項目

- [電話・ファックスで問い合わせる](#)

5-035-396-01(6) Copyright 2022 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

水濡れによる焼損や故障を防ぐために

ヘッドセットの防水性能について

ヘッドセットは防水仕様ではありません。水や異物が入ると焼損や故障の原因になります。

下記のような状況を避け、ヘッドセットに水分や汚れが付かないよう注意してください。

- 雨や雪の中で使用する



- キッチンでの水仕事や洗面所で手を洗った後、水に濡れた手をよく拭かずにヘッドセットに触れる。



- 汗が付いた手でヘッドセットを触ったり、多くの汗がヘッドセットに付着する状況で使用する。

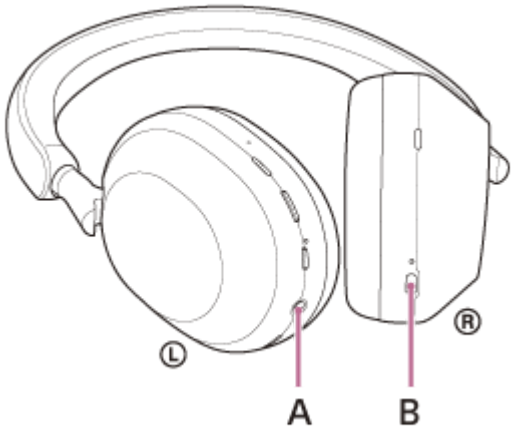
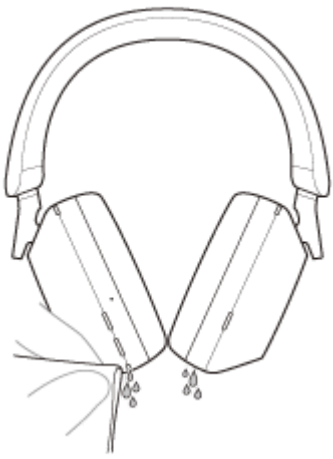


- 冷えたペットボトルと一緒にカバンの中に入れる。



万一、ヘッドセットに水がかかったり、内部に入った場合は

濡れたまま充電したり、電源を入れると焼損や故障の原因になります。なるべく振動を与えないようにゆっくりとイヤーパーッドを下に向け、イヤーパーッドから水を抜いてください。次に、ヘッドセットを立てた状態で、内部から水が出てこなくなるまで、乾いた布などをヘッドホンケーブル入力端子とUSB Type-C端子に当ててください。その後、完全に乾燥するまで風通しの良い日陰で放置してください。



A : ヘッドホンケーブル入力端子

B : USB Type-C端子

関連項目

- [電話・ファックスで問い合わせる](#)

5-035-396-01(6) Copyright 2022 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

ライセンスについて

- 本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。ライセンスに関して、内容をご一読くださいますようお願い申し上げます。ライセンス内容は、以下のURLよりご覧ください。
<https://rd1.sony.net/help/mdr/sl/22/>
- 第三者が提供するサービスは予告なく、変更・停止・終了することがあります。ソニーは、そのような事態に対していかなる責任も負いません。

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

商標について

- Microsoft およびWindows、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- iPhone、iPod touch、macOS、MacおよびSiriは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。「iPhone」の商標は、アイホン株式会社からライセンスを受け使用しています。
- App Storeは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.のサービスマークです。
- IOSは、Ciscoの米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Google、AndroidおよびGoogle PlayはGoogle LLCの商標です。
- Amazon、Alexa及び関連するすべてのロゴはAmazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ソニーグループ株式会社及びその子会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- ウォークマン®、WALKMAN®、WALKMAN®ロゴは、ソニーグループ株式会社またはその関連会社の登録商標です。
- LDAC™は、ソニーグループ株式会社またはその関連会社の商標です。
- USB Type-C®およびUSB-C®は、USB Implementers Forumの登録商標です。
- “DSEE”、“DSEE Extreme”はソニーグループ株式会社またはその関連会社の商標または登録商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますのでお買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

このヘルプガイドと使用上のご注意／主な仕様をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

内部を開けずに、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセットの補修用部品を製造終了後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

関連項目

- [電話・ファックスで問い合わせる](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

電話・ファックスで問い合わせる

ヘッドセットについてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記の問い合わせ先をご利用ください。

お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

- セット本体に関するご質問時：
 - － 型名：WH-1000XM5
 - － 製造（シリアル）番号：本体のラベルに記載（捨てずに保管してください）



- － ご相談内容：できるだけ詳しく
 - － お買い上げ年月日
- 接続に関するご質問時：

質問の内容によっては、ヘッドセットに接続される機器についてご質問させていただく場合があります。事前にわかる範囲でご確認いただき、お知らせください。

使い方相談窓口

- フリーダイヤル：0120-333-020
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「309」＋「#」を押してください。直接、担当窓口へおつながります。
- 携帯電話・一部のIP電話：050-3754-9577
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「309」＋「#」を押してください。直接、担当窓口へおつながります。
- FAX：0120-333-389

修理相談窓口

- フリーダイヤル：0120-222-330
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「309」＋「#」を押してください。直接、担当窓口へおつながります。
- 携帯電話・一部のIP電話：050-3754-9599
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「309」＋「#」を押してください。直接、担当窓口へおつながります。
- FAX：0120-333-389

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

サポートホームページで調べる

<https://www.sony.jp/support/headphone/>

接続対応機器情報、サポート情報、よくあるお問い合わせとその回答をご案内しています。

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、もう一度下記の項目をチェックしてみてください。

- 本ヘルプガイドの各項目や「困ったときは」で調べる。
- ヘッドセットを充電する。
充電することで問題が解決することがあります。
- 接続機器を再起動する。
お使いのパソコン・スマートフォンなどの接続機器を再起動することで問題が解決することがあります。
- ヘッドセットをリセットする。
- ヘッドセットを初期化する。
音量調節などを工場出荷時の設定に戻し、すべての機器登録（ペアリング）情報を削除します。
- サポートホームページで調べる。

それでも解決しない場合、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。

なお、保証書とアフターサービスについては、「[保証書とアフターサービス](#)」をご参照ください。

関連項目

- [ヘッドセットを充電する](#)
- [保証書とアフターサービス](#)
- [電話・ファックスで問い合わせる](#)
- [サポートホームページで調べる](#)
- [リセットする](#)
- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

電源が入らない

- 充電式電池が十分に充電されているか確認してください。
- 充電中は電源を入れることができません。USB Type-Cケーブルを外して、電源を入れてください。
- ヘッドセットをリセットしてください。
- ヘッドセットを初期化し、もう一度機器登録（ペアリング）をしてください。

関連項目

- [ヘッドセットを充電する](#)
- [充電式電池の残量を確認する](#)
- [ヘッドセットの電源を入れる](#)
- [リセットする](#)
- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

勝手に電源が切れてしまう

- ヘッドセットを帽子や布、マフラー、髪の毛などの上から装着した場合、装着検出が正しく動作せず、自動電源オフ機能が働いてしまい、自動的にヘッドセットの電源が切れる場合があります。耳がイヤーパッド内に入るように装着してください。
- “Sony | Headphones Connect”アプリの［システム］タブで自動電源オフを［オフしない］に変更することで、装着検出が動作し続けるため、症状が改善する場合があります。
- 充電式電池が十分に充電されているか確認してください。

関連項目

- [ヘッドセットを装着する](#)
- [ヘッドセットの電源を切る](#)
- [ヘッドセットを充電する](#)
- [充電式電池の残量を確認する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

充電できない

共通

- 付属のUSB Type-Cケーブルで充電をお試しください。
- 周囲の温度が15℃～35℃の範囲で充電することをおすすめします。この範囲を超えると、効率のよい充電ができないことがあります。
- ヘッドセットをリセットしてください。
- ヘッドセットを初期化し、もう一度機器登録（ペアリング）をしてください。

USB ACアダプターで充電する場合

- USB ACアダプターが電源コンセントにしっかり接続されているか確認してください。
- 市販のUSB ACアダプターを使用する場合、出力電流1.5 A以上が供給可能なものをご使用ください。

パソコンで充電する場合

- 付属のUSB Type-CケーブルがきちんとパソコンのUSB端子に接続されているか確認してください。
- パソコンの電源が入っているか確認してください。パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態に入っている場合は解除してください。
- ヘッドセットとパソコンがUSBハブなどを経由せずに直接つながれているか確認してください。
- 接続しているパソコンのUSB端子に問題がある可能性があります。パソコンに別のUSB端子がある場合は、その端子に接続しなおしてください。
- パソコンのOSを最新の状態にしてください。
- 上記に当てはまらない場合は、パソコンを再起動し、USB接続をしなおしてください。

関連項目

- [ヘッドセットを充電する](#)
- [リセットする](#)
- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

充電時間が長い

- パソコンで充電する場合は、ヘッドセットとパソコンがUSBハブなどを經由せずに直接つながれているか確認してください。
- 出力電流1.5 A以上が供給可能な市販のUSB ACアダプターを使用しているか確認してください。
- 付属のUSB Type-Cケーブルを使用しているか確認してください。
- 周囲の温度が15 °C～35 °Cの範囲で充電することをおすすめします。この範囲を超えると、効率のよい充電ができないことがあります。
- 上記に当てはまらない場合は、パソコンを再起動し、USB接続をなおしてください。

関連項目

- [ヘッドセットを充電する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

使用時間が短い（電池の持続時間が短い）

- 以下の設定を行うと、電池の使用可能時間が短くなります。
 - DSEE Extreme
 - スピーク・トゥ・チャット
 - イコライザー
 - 音声で音声アシスタントを起動させる機能
 - Bluetooth再生時の音質モード：音質優先
 - サービスとの連携
 - ノイズキャンセリング機能
 - 外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）

上記の設定を同時に行うと、電池の使用可能時間はさらに短くなります。

- 長い間使わなかったときは、充電式電池の持続時間が短くなることがあります。充電と放電を何度か繰り返すと、十分に充電できるようになります。長期にわたって保存する場合は、過放電防止のため、半年に1回程度の充電を行ってください。
- 周囲の温度が15℃～35℃の範囲で充電することをおすすめします。この範囲を超えると、効率のよい充電ができないことがあります。それでも問題が解決しない場合は、ソニーの相談窓口にご相談ください。
- 電池の持続時間が極端に短くなった場合は、充電式電池の交換時期です。ソニーの修理相談窓口にご相談ください。

関連項目

- [使用可能時間](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

音が出ない

- 接続先の機器とヘッドセットの電源が入っているか確認してください。
- 音楽を再生するときは、ヘッドセットと送信側Bluetooth機器がA2DPでBluetooth接続されているか確認してください。
- パソコンのビデオ通話用アプリを使用するときは、ヘッドセットとパソコンがHFPやHSPでBluetooth接続されているか確認してください。
お使いのビデオ通話用アプリによっては、マイクの設定ができない場合があります。
- マルチポイント接続で2台の機器と同時に接続しているとき、接続した機器によっては、音楽や動画などの再生を停止しても無音の信号を送り続けるものがあります。この場合、ヘッドセットはその機器と接続したままになり、別の機器に音が切り替わらないことがあります。1台目の機器で再生を停止しても、2台目の機器から音が聞こえない場合は、以下の順にお試しいただき、改善されるかご確認ください。
 - “Sony | Headphones Connect”アプリで、[2台の機器と同時に接続] がオンになっていることを確認する。
 - 1台目の機器のアプリケーションで再生を停止する。
 - 1台目の機器のアプリケーションを終了する。
- 音量が小さすぎるときは音量を上げてください。
- 接続先の機器で正しく再生されているか確認してください。
- パソコンと接続しているとき、パソコンの音声出力先はBluetooth機器になっているか確認してください。
- Bluetooth機器とヘッドセットをもう一度機器登録（ペアリング）してください。
- ヘッドホンケーブルのプラグがしっかりと差し込まれているか確認してください。
- スピーク・トゥ・チャットが有効になっていると、ヘッドセットを耳に装着していなくても、再生中の音声（特に語学教材の会話音声など）に反応してスピーク・トゥ・チャットモードが起動することがあります。この場合は、ヘッドセットのボタンやタッチセンサーコントロールパネルを操作して、スピーク・トゥ・チャットモードを終了してください。
- お使いのスマートフォンやパソコンの再起動をしてください。
- ヘッドセットをリセットしてください。
- ヘッドセットを初期化し、もう一度ペアリングをしてください。

関連項目

- [Bluetooth接続するには](#)
- [付属のヘッドホンケーブルをつないで使う](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [パソコンでビデオ通話する](#)
- [ヘッドセットを耳に装着したまま会話をする（スピーク・トゥ・チャット）](#)
- [リセットする](#)
- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

音が小さい

- 接続先の機器とヘッドセットの音量を調節してください。
- Bluetooth機器とヘッドセットをもう一度接続しなおしてください。
- ヘッドセットをリセットしてください。
- ヘッドセットを初期化し、もう一度機器登録（ペアリング）をしてください。

ご注意

- 接続機器によって、ヘッドセットと音量が連動するもの、連動しないものがあります。一度ヘッドセットの音量が下がってしまうと、連動しない機器の音量操作ではヘッドセットの音量が上げられません。その場合は、ヘッドセットと接続先の機器両方の音量を上げてください。

関連項目

- [リセットする](#)
- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

音質が悪い、ノイズや異音が聞こえる

- 再生機器の音量が大きすぎる場合は、音量を下げてください。
- 音楽を再生するときは、ヘッドセットと送信側Bluetooth機器がHFPやHSPでのBluetooth接続になっていたら、接続機器を操作してA2DPでのBluetooth接続に切り替えてください。
- 商業施設や地下鉄駅の出入り口などの場所に、まれにネズミなどを撃退するために、特殊な超音波を発生する機器が設置されている場合があります。その機器の近くでは超音波の影響を受けてしまい、ヘッドセットからノイズや異音が聞こえる場合があります。ノイズや異音が聞こえる場所から離れてください。または、“Sony | Headphones Connect”アプリからノイズキャンセリング機能、外音取り込み機能をオフにしてください。
- パソコンのビデオ通話用アプリを使用するときは、パソコンを操作してHFPやHSPでのBluetooth接続に切り替えてください。
ビデオ通話時は、通信回線の影響により、音質が悪くなる場合があります。
- ヘッドセットを前回接続していたBluetooth機器に接続する場合は、ヘッドセットの電源を入れたときにHFP/HSPのみBluetooth接続される場合があります。接続機器を操作して、A2DPでBluetooth接続してください。
- ヘッドセットを使ってパソコンの音楽を聞く際、最初の数秒間のみ音質が悪い場合（例えばボーカルの声が聞こえにくい、など）があります。これはパソコンの仕様（通信開始時は通話優先で接続し、数秒後に音質優先に切り替わる）であり、ヘッドセットの故障ではありません。
もし数秒たっても音質が悪い場合は、パソコン側でA2DPでの接続操作をしてください。パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [パソコンでビデオ通話する](#)
- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

音が途切れやすい

- ヘッドセットを接続優先に設定してください。詳しくは、「[音質モードについて](#)」をご覧ください。
- 送信機器のワイヤレス再生品質設定の変更により改善される場合があります。詳しくは送信機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続するBluetooth機器のアンテナ部と、ヘッドセットの内蔵アンテナ部分との間に障害物がある場合は、障害物を避けてください。ヘッドセットのアンテナは、下記の図で点線で示した位置に内蔵されています。



A : 内蔵アンテナの位置

- Bluetooth通信は以下の状況において、ノイズや音途切れが発生したり、接続できなくなることがあります。
 - － ヘッドセットとBluetooth機器の間に人体がある場合
この場合は、ヘッドセットのアンテナと同じ方向にBluetooth機器を置くとBluetooth通信が改善されます。
 - － ヘッドセットとBluetooth機器の間に金属、壁などの障害物がある場合
 - － 無線LANが構築されている場所や、電子レンジを使用中の周辺、その他電磁波が発生している場所など
 - － 駅構内や満員電車の中など他の無線通信オーディオ機器や人体が近くにある場合
- スマートフォンで音楽を聞いているときは、不要なアプリを閉じたり、スマートフォンを再起動すると改善される場合があります。パソコンで音楽を聞いているときは、不要なアプリやウィンドウを閉じて、パソコンを再起動してください。
- ヘッドセットとお使いのBluetooth機器をもう一度接続しなおしてください。
- アダプティブサウンドコントロールをオンにしていると、行動を検出してノイズキャンセリング機能を自動で調整します。設定が変更されるときに、音楽が一瞬停止してしまう場合があります。これは不具合ではありません。
- “Sony | Headphones Connect”アプリで【サービスとの連携】をオフにすると音切れが改善することがあります。
- ヘッドセットをリセットしてください。
- ヘッドセットを初期化し、もう一度機器登録（ペアリング）をしてください。

関連項目

- [音質モードについて](#)
- [リセットする](#)
- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

ノイズキャンセリング効果が得られない


- ノイズキャンセリング機能がオンになっているか確認してください。
- ヘッドセットをぴったりと耳に装着させてください。
- ノイズキャンセリング機能は、飛行機・電車・オフィス・エアコンなどの低周波数域の騒音に効果的ですが、人の話す声など、高周波数域の騒音に対しては、ノイズキャンセリング効果が感じられない場合があります。
- “Sony | Headphones Connect”アプリのアダプティブサウンドコントロールがオンのときは、歩いたり走ったりする行動によって、ノイズキャンセリング機能が自動的に調整され、外音取り込み機能に切り替わることがあります。ノイズキャンセリング機能を最大限に活用したい場合は、アダプティブサウンドコントロールをオフにし、手動でノイズキャンセリング機能をオンにする方法をお試しくささい。
- “Sony | Headphones Connect”アプリで「外音コントロール」の設定を確認してください。「外音取り込み」に設定されていると、ノイズキャンセリング効果も低減されます。ノイズキャンセリングモードに設定してください。
- “Sony | Headphones Connect”アプリでNC/AMBボタンの機能が「外音コントロール」に設定されているか確認してください。
- オートNCオブティマイザー機能により、装着状態や使用環境などの変化に合わせて自動的にノイズキャンセリング性能を最適化しているため、ノイズキャンセリング効果の変動を感じる場合があります。

関連項目

- [ノイズキャンセリング機能とは](#)
- [ノイズキャンセリング機能を使う](#)
- [ヘッドセットを装着する](#)
- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

機器登録（ペアリング）できない

- ヘッドセットとBluetooth機器の距離を1 m以内に近づけてください。
- お買い上げ時やヘッドセットを初期化した後、修理返却後などに1台目をペアリングするときは、ヘッドセットの電源を入れると自動的にペアリングモードになります。2台目以降の機器をペアリングする場合は、ヘッドセットの （電源）ボタンを約5秒間押したままにしてペアリングモードに設定する必要があります。
- ヘッドセットを初期化した後や修理返却後に機器をペアリングしなす場合、接続する機器にヘッドセットのペアリング情報が残っているとペアリングできない場合があります（iPhoneなど）。その場合は接続する機器にペアリングされているヘッドセットのペアリング情報を削除してからペアリングを行ってください。
- お使いのスマートフォンやパソコンなどの接続機器を一度再起動してから、もう一度ペアリングをしてください。
- ヘッドセットをリセットしてください。
- ヘッドセットを初期化し、もう一度ペアリングをしてください。

関連項目

- [Bluetooth接続するには](#)
- [リセットする](#)
- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

Bluetooth接続ができない

- ヘッドセットの電源が入っているか確認してください。
- Bluetooth機器の電源が入っていてBluetooth機能がオンになっていることを確認してください。
- ヘッドセットが前回接続していた別のBluetooth機器と自動的に接続されたときは、Bluetooth接続に失敗することがあります。その場合は、前回接続していたBluetooth機器を操作してBluetooth接続を切断してください。
- Bluetooth機器がスリープ状態になっていないか確認してください。スリープ状態になっている場合は解除してください。
- Bluetooth接続が切断されていないか確認してください。切断されている場合は、もう一度Bluetooth接続を開始してください。
- Bluetooth機器側でヘッドセットの接続履歴情報を削除した場合、もう一度機器登録（ペアリング）が必要です。
- ヘッドセットをリセットしてください。
- ヘッドセットを初期化し、もう一度ペアリングをしてください。

関連項目

- [Bluetooth接続するには](#)
- [リセットする](#)
- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

ヘッドセットを操作できない

- ヘッドセットを装着しないと、タッチセンサーコントロールパネルを操作できません。ヘッドセットを装着してからタッチセンサーコントロールパネルを操作してください。
- ヘッドセットを帽子や布、マフラー、髪の毛などの上から装着した場合、装着検出が正しく動作せず、タッチセンサーコントロールパネルを操作できない場合があります。耳がイヤーパッド内に入るように装着してください。
- “Sony | Headphones Connect”アプリの［システム］タブで自動電源オフを［オフしない］に変更することで、装着検出が動作し続けるため、症状が改善する場合があります。
- ヘッドセットをリセットしてください。この操作をしても、機器登録（ペアリング）情報は削除されません。
- リセットしても操作できないときは、ヘッドセットを初期化してください。
- 付属のヘッドホンケーブルをつないでヘッドセットの電源を入れてお使いのときは、クイックアテンションモードは使用できますが、音量調節、再生／一時停止などの操作はできません。
- 指の爪や手袋をはめた手で操作しても正しく動作しません。手袋を外し、指の腹で操作してください。
- “Sony | Headphones Connect”アプリでタッチセンサーコントロールパネル設定が有効になっていることを確認してください。
- パソコンとの接続時、パソコンのアプリケーションによってはタッチセンサーコントロールパネルで操作できない場合がありますが、故障ではありません。パソコンのアプリケーションで操作してください。

関連項目

- [ヘッドセットを装着する](#)
- [リセットする](#)
- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

通話相手の声が聞こえない・声が小さい、通話相手に声が届かない・声が小さい

- 接続先の機器とヘッドセットの電源が入っているか確認してください。
- 接続先の機器とヘッドセットの音量が小さすぎる場合は音量を上げてください。
- ビデオ通話用アプリを使用するとき、ビデオ通話用アプリの設定(*)を開き、スピーカー、もしくはマイクの設定が[ヘッドセット (WH-1000XM5 Hands-Free)](**)になっているかを確認してください。ビデオ通話用アプリの設定が確認できない場合や、通話の接続[ヘッドセット (WH-1000XM5 Hands-Free)]を選択できない場合は、パソコンの設定から[ヘッドセット (WH-1000XM5 Hands-Free)]を選択し、接続してください。
 - * お使いのビデオ通話用アプリによっては、機能がない場合があります。
 - ** 名称はお使いのパソコンやビデオ通話用アプリによって異なります。
- Bluetooth機器を操作して接続しなおしてください。プロファイルは、HFPまたはHSPを選んでください。
- ヘッドセットで音楽を聞いているときは再生を停止して、ヘッドセットのタッチセンサーコントロールパネルをすばやく（約0.4秒間隔で）2回タップして着信に応答してください。
- ヘッドセットをリセットしてください。
- ヘッドセットを初期化し、もう一度機器登録（ペアリング）をしてください。

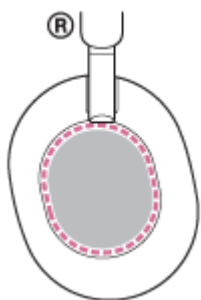
関連項目

- [Bluetooth接続するには](#)
- [電話を受ける](#)
- [電話をかける](#)
- [リセットする](#)
- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

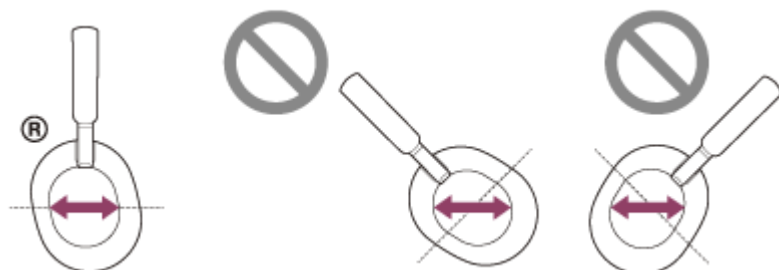
ヘッドセットが誤動作する

- パソコンとの接続時、パソコンのアプリケーションによっては、ヘッドセットを取り外しても音楽の再生が一時停止しない場合がありますが、故障ではありません。パソコンのアプリケーションで音楽の再生を停止してください。
- 突然外音が聞こえるなど、意図せず動作が切り替わる場合は、“Sony | Headphones Connect”アプリで【外音コントロール】の設定を確認してください。【外音取り込み】に設定されていると、ノイズキャンセリング効果も低減されます。ノイズキャンセリングモードに設定してください。
- タッチセンサーコントロールパネルのセンサーは、右ユニットの平らな面に内蔵されています。操作するときは、センサーの範囲内で行ってください。

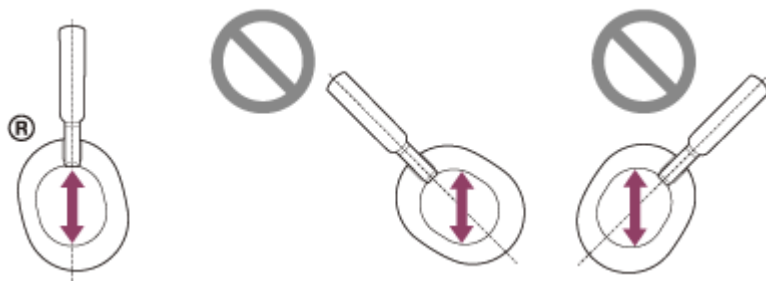


- タッチセンサーコントロールパネル上で指を前後または上下にすべらせるとき、ヘッドセットを耳に装着したときの角度や頭の向きにより、正しく動作しない場合があります。

－ 指を前後にすべらせるときは、ヘッドバンドに対して垂直に動かしてください。



－ 指を上下にすべらせるときは、ヘッドバンドに対して平行に動かしてください。



ご注意

- 付属のヘッドホンケーブルをつないでヘッドセットの電源を入れてお使いのときは、クイックアテンションモードは使用できませんが、音量調節、再生／一時停止などの操作はできません。
- 指の爪や手袋をはめた手で操作しても正しく動作しません。手袋を外し、指の腹で操作してください。
- “Sony | Headphones Connect”アプリでタッチセンサーコントロールパネル設定が有効になっていることを確認してください。

- パソコンとの接続時、パソコンのアプリケーションによってはタッチセンサーコントロールパネルで操作できない場合がありますが、故障ではありません。パソコンのアプリケーションで操作してください。

5-035-396-01(6) Copyright 2022 Sony Corporation

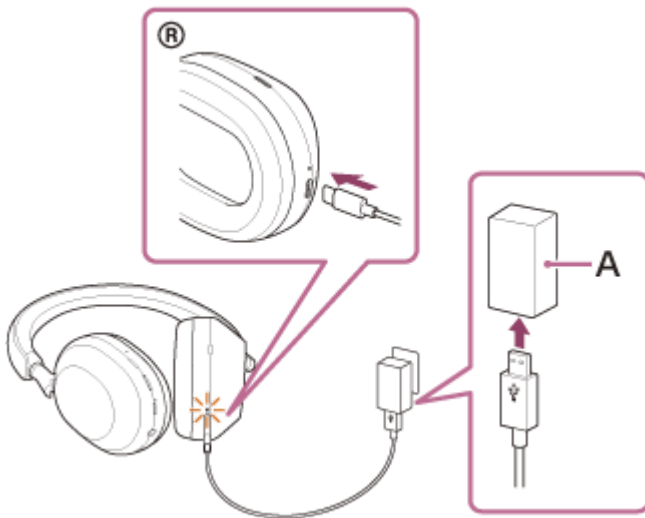
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

リセットする

ヘッドセットの電源が入らない、または電源が入っているのに操作ができない場合は、ヘッドセットをリセットしてください。

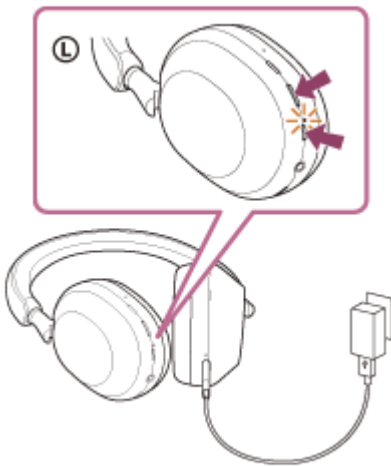
1 ヘッドセットを電源コンセントにつなぐ。

付属のUSB Type-Cケーブルと別売のUSB ACアダプター（推奨：AC-UD20）を使用します。



A : USB ACアダプター

2 ㊦（電源）ボタンとNC/AMBボタンを同時に押す。



ヘッドセットがリセットされます。

機器登録（ペアリング）情報、その他の設定は保持されます。
症状が改善されないときはヘッドセットを初期化してください。

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

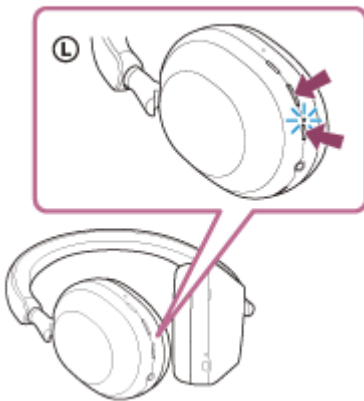
初期化する

ヘッドセットをリセットしても症状が改善されないときは、初期化してください。

1 ヘッドセットの電源を切る。

USB Type-Cケーブルを外してください。

2 (電源) ボタンとNC/AMBボタンを約7秒間押したままにする。



初期化が完了すると、ランプ（青）が4回（ ● ● ● ● ）点滅します。

音量調節などを工場出荷時の設定に戻し、すべての機器登録（ペアリング）情報を削除します。この場合は接続相手の機器からヘッドセットのペアリング情報を一度削除してもう一度ペアリングをしてください。
初期化しても動作が改善されないときは、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店へお問い合わせください。

関連項目

- [電話・ファックスで問い合わせる](#)
- [リセットする](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM5

主な仕様

ヘッドセット

電源：

DC 5 V / 1.6 A （市販USB ACアダプタを使用）
DC 5 V / 1.6 A、9 V / 2.3 A （市販USB Power Delivery 対応ACアダプタを使用）
または内蔵されたリチウムイオン電池を使用（製品の動作電源 DC 3.8 V）

許容動作温度：

0 °C～40 °C

充電時間：

約3.5時間

ご注意

- 使用条件により変わる場合があります。

充電温度：

5 °C～35 °C

質量：

約250 g

インピーダンス：

48 Ω （1 kHzにて） （有線接続時、POWER ON 時）
16 Ω （1 kHzにて） （有線接続時、POWER OFF 時）

音圧感度：

102 dB/mW （有線接続時、POWER ON 時）
100 dB/mW （有線接続時、POWER OFF 時）

再生周波数帯域：

4 Hz - 40 000 Hz（JEITA規格による測定値）
（有線接続、POWER ON 時）

通信仕様

通信方式：

Bluetooth標準規格 Ver. 5.2

出力：

Bluetooth標準規格 Power Class 1

最大通信距離：

見通し距離 約10 m（*1）

使用周波数帯域：

2.4 GHz帯 (2.4000 GHz - 2.4835 GHz)

対応Bluetoothプロファイル (*2)：

A2DP
AVRCP
HFP
HSP

対応コーデック (*3)：

SBC
AAC
LDAC

伝送帯域 (A2DP)：

20 Hz - 20 000 Hz (44.1 kHzサンプリング時)
20 Hz - 40 000 Hz (LDAC 96 kHzサンプリング、990 kbps 時)

*1 通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わる場合があります。

*2 Bluetoothプロファイルとは、Bluetooth機器の特性ごとに機能を標準化したものです。

*3 音声圧縮変換方式のこと

ヘッドセットの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

対応iPhone/iPod

iPhone 12 Pro Max
iPhone 12 Pro
iPhone 12
iPhone 12 mini
iPhone SE (第2世代)
iPhone 11 Pro Max
iPhone 11 Pro
iPhone 11
iPhone XS Max
iPhone XS
iPhone XR
iPhone X
iPhone 8 Plus
iPhone 8
iPhone 7 Plus
iPhone 7
iPhone SE
iPhone 6s Plus
iPhone 6s
iPhone 6 Plus
iPhone 6
iPhone 5s
iPod touch (第7世代)
iPod touch (第6世代)
※ 2022年2月 現在